30. 和歌山県

年間「0-2999件」の全身麻酔が圏内で行われている二次医療圏

年間「3000-9999件」の全身麻酔が圏内で行われている二次医療圏

年間「10000件以上」の全身麻酔が圏内で行われている二次医療圏

目次

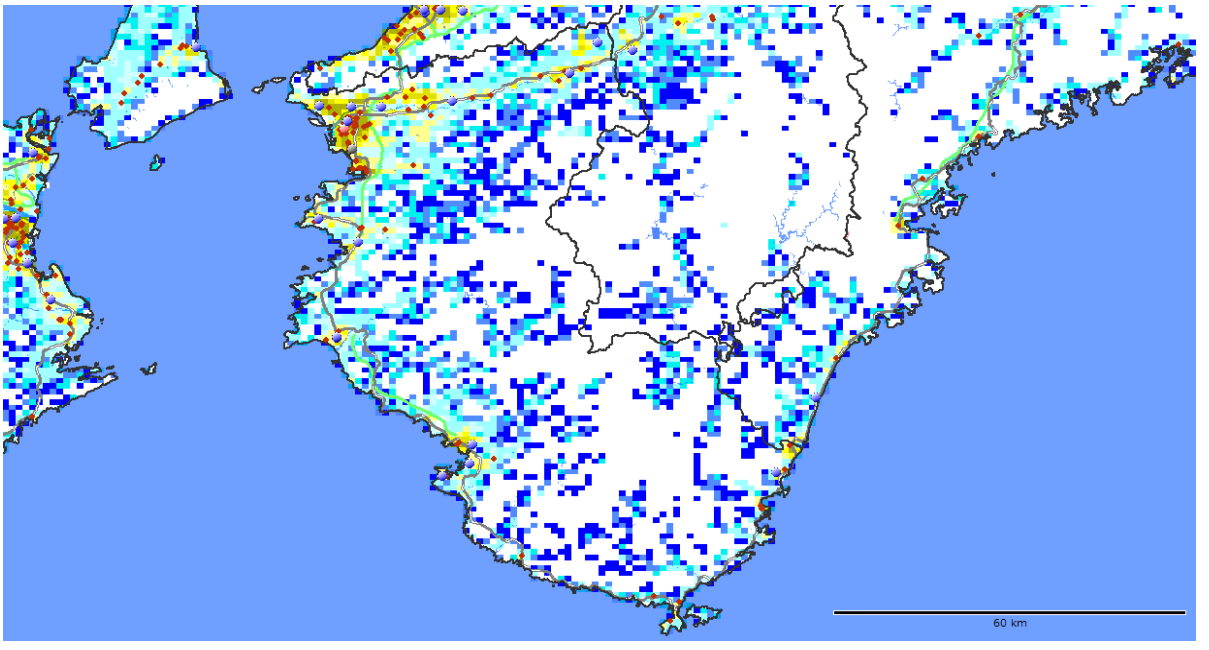
和歌山県 30 － 3

資料編 － 当県ならびに二次医療圏別資料 …… 30 － 8

1. 和歌山医療圏 …… 30 － 20
2. 那賀医療圏 …… 30 － 25
3. 橋本医療圏 …… 30 － 30
4. 有田医療圏 …… 30 － 35
5. 御坊医療圏 …… 30 － 40
6. 田辺医療圏 …… 30 － 45
7. 新宮医療圏 …… 30 － 50

30. 和歌山県

人口分布[1]（1㎢区画単位）



区画内人口（1平方キロ）
0
0 < 20
20 < 50
50 < 100
100 < 500
500 < 1000
1000 < 2000
2000 < 3000
3000 < 5000
5000 < 10000
10000 < 15000
15000 < 20000
20000 <= 35000

DPC病院
Ⅰ群
Ⅱ群
Ⅲ群
一般病院

(和歌山県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照: 資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など: 和歌山県は、総人口約964千人(2015年)、面積4725㎢、人口密度は204人/㎢である。

＊人口の将来予測: 和歌山県の総人口は2025年に869千人へと減少し(2015年比－10%)、2040年に719千人へと減少する(2025年比－17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の149千人が、2025年にかけて184千人へと増加し(2015年比＋23%)、2040年には173千人へと減少する(2025年比－6%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費: 和歌山県の一人当たり医療費(国保)は347千円(偏差値51)、介護給付費は298千円(偏差値63)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度: 和歌山県の一人当たり急性期医療密度指数[2]は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数[2]は1.18で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

＊医師・看護師の現状: 総医師数[3]の偏差値が56(病院医師数54、診療所医師数59)と、総医師数、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

＊一般病床等の現状: 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。

＊療養病床の現状: 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

＊リハビリの現状: 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

＊精神病床の現状: 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

＊診療所の現状: 人口当たりの診療所数の偏差値は67で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状: 和歌山県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15462人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が9925床(偏差値54)、高齢者住宅等が5537床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12648人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム41、軽費ホーム52、グループホーム51、サ高住56である。

＊在宅ケアの現状: 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員(在宅)の合計は、4402人(75歳以上1000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

＊介護の2025年の需要予測: 2025年の介護充足度指数[4]は－16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

和歌山県の総人口は、2005年1035969人が、2015年に963579人と7%減少し、2025年の人口が869182人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

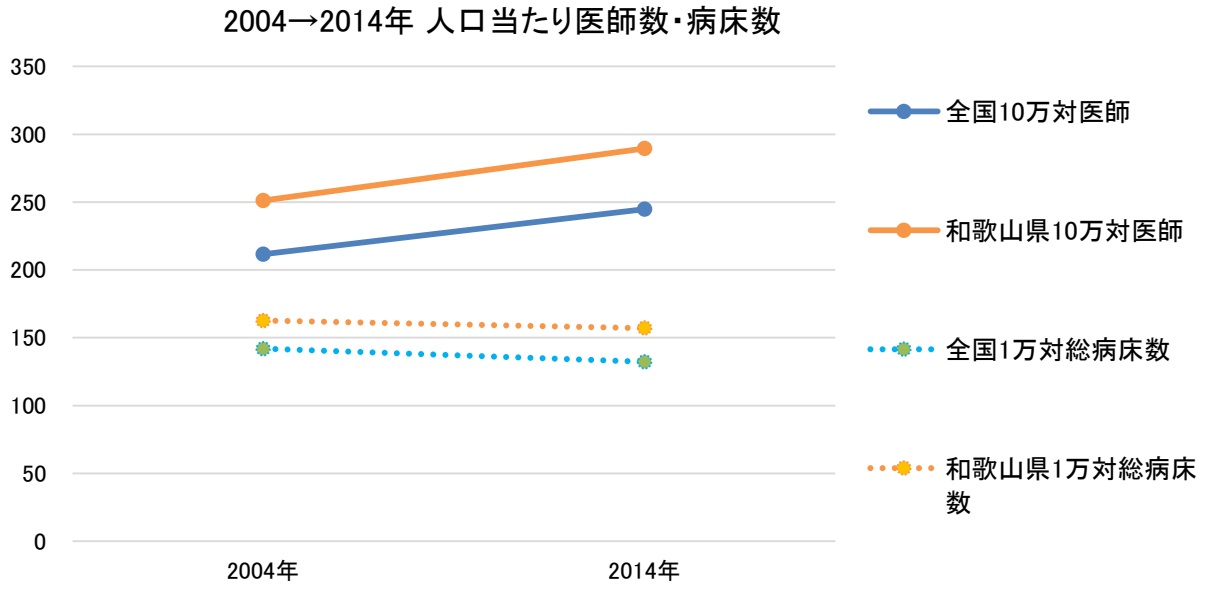
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が92(人口10万人当たり8.9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に86(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が1084(人口10万人当たり105診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2014年に1070(人口10万人当たり111診療所(全国平均79)偏差値67)と、14診療所が減少した。

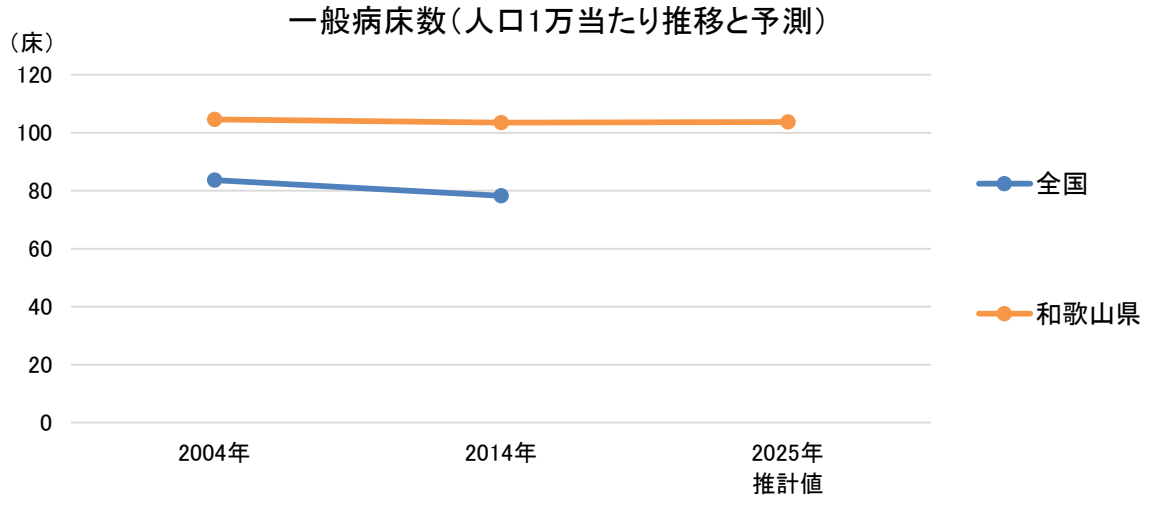
2004年の総病床数が16846床(人口1万人当たり163(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に15136床(人口1万人当たり157(全国平均132)偏差値54)と、1710床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数[3]が2602人(人口10万人当たり251人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2014年に2791人(人口10万人当たり290人(全国平均245人)偏差値55)と、189人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



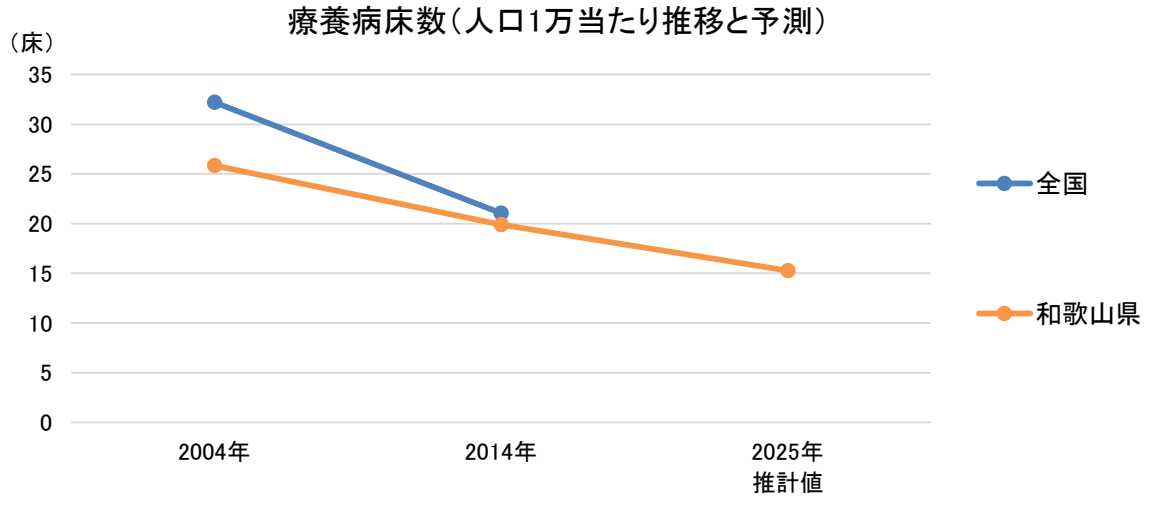
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院＋診療所)が10837床(人口1万人当たり105(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に9967床(人口1万人当たり103(全国平均78)偏差値59)と、870床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9010床(2025年の推計人口1万人当たり104)になることが予想される。



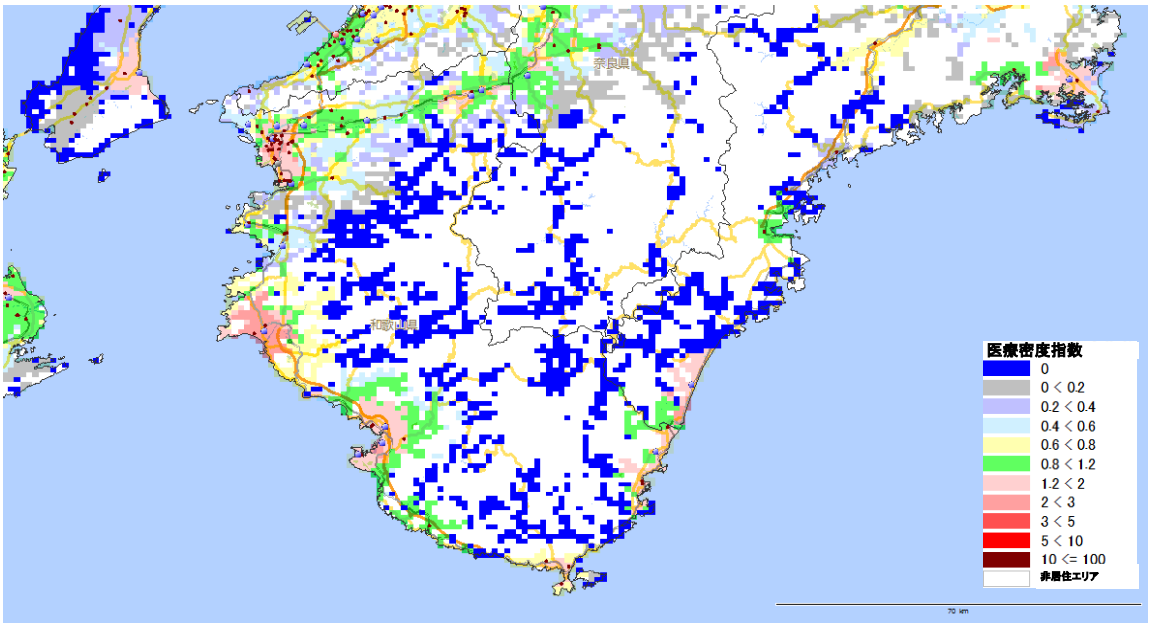
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院＋診療所)が3108床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に2965床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値49)と、143床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2808床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



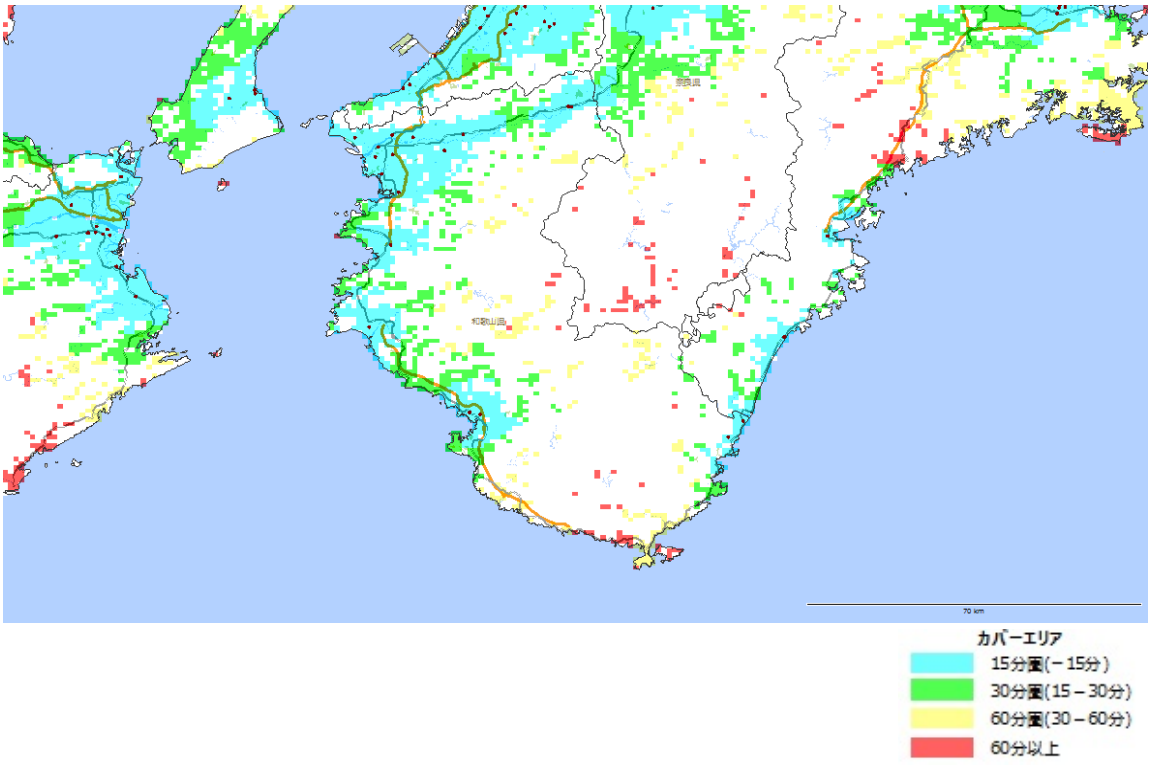
（和歌山県） 3. 医療密度[5]・周産期カバーエリア

図表30-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



資料編　－　当県ならびに二次医療圏別資料[6]

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 30-1　地理情報・人口動態

二次医療圏	人口（単位：千人）	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2025年総人口（単位：千人）	2040年総人口（単位：千人）	2015年75歳以上人口（単位：千人）	2025年75歳以上人口（単位：千人）	2040年75歳以上人口（単位：千人）	2015→25年総人口増減率	2025→40年総人口増減率	2015→25年75歳以上人口増減率	2025→40年75歳以上人口増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	−5%	−11%	35%	2%
和歌山県	964	40位	4,725	30位	203.9		31%	869	719	149	184	173	−10%	−17%	23%	−6%
和歌山	425	44%	438	9%	970.3	地方都市型	30%	384	321	62	79	72	−10%	−16%	27%	−9%
那賀	116	12%	267	6%	435.2	地方都市型	26%	111	97	14	19	21	−4%	−13%	36%	11%
橋本	88	9%	463	10%	190.6	過疎地域型	31%	79	63	14	17	17	−10%	−20%	21%	0%
有田	74	8%	475	10%	156.4	過疎地域型	32%	65	52	12	14	14	−12%	−20%	17%	0%
御坊	64	7%	579	12%	109.8	過疎地域型	32%	57	47	11	12	12	−11%	−18%	9%	0%
田辺	128	13%	1,580	33%	81.1	過疎地域型	32%	116	96	22	25	24	−9%	−17%	14%	−4%
新宮	68	7%	922	20%	73.6	過疎地域型	39%	58	43	14	16	13	−15%	−26%	14%	−19%

出　典	＜人口(2015年)＞平成27年国勢調査　人口等基本集計 平成27年10月 ＜人口(2025年、2040年)＞日本の地域別将来推計人口　国立社会保障・人口問題研究所　平成25年3月 ＜面積＞平成27年国勢調査　人口等基本集計 平成27年10月1日

資_図表 30-2　一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり急性期医療密度指数	一人当たり慢性期医療密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年ベッド数	2025年目標ベッド数	2025年充足度指数（%）
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	−21.6%
和歌山県	1.24	1.18	12,836	14,953	−16.5%
和歌山	1.44	0.79	5,054	6,462	−27.9%
那賀	0.86	0.46	1,245	1,580	−26.9%
橋本	0.93	0.89	1,151	1,395	−21.2%
有田	0.58	0.34	1,230	1,172	4.7%
御坊	1.73	1.77	1,119	979	12.5%
田辺	1.34	1.91	1,900	2,053	−8.1%
新宮	1.09	1.28	1,137	1,311	−15.3%

出　典	＜一人当たり急性期医療密度指数＞＜一人当たり慢性期医療密度指数＞その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 ＜75歳以上介護充足度指数＞高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 30-3　医療費、介護給付費[7]

二次医療圏	一人あたり医療費（国保のみ）（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	入院費（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	入院外＋調剤（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	被保険者一人あたり介護給付費（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
和歌山県	347	51	1.004	130	50	0.990	193	52	1.019	298	63
和歌山	367	55	1.039	134	51	0.998	208	61	1.074	307	65
那賀	342	50	1.009	124	48	0.966	193	53	1.040	264	53
橋本	373	57	1.038	141	53	1.027	208	60	1.053	306	65
有田	321	45	0.971	122	47	0.971	177	44	0.979	286	59
御坊	337	48	1.005	129	50	1.015	182	47	0.995	295	62
田辺	301	40	0.912	117	45	0.929	163	36	0.901	310	66
新宮	352	52	0.979	142	54	1.037	188	50	0.956	283	58

出　典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析　厚生労働省 ＜一人あたり介護給付費＞平成27年度介護保険事業状況報告（年報） 平成27年度累計（平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで）

※後期高齢者の医療費については、資_図表30-35を参照。

資_図表 30-4　病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
和歌山県	86	1.0%	8.9	55	1,065	1.1%	111	67
和歌山	45	52%	10.6	60	518	49%	122	73
那賀	8	9%	6.9	51	108	10%	93	57
橋本	6	7%	6.8	50	93	9%	105	64
有田	6	7%	8.1	53	78	7%	105	64
御坊	4	5%	6.3	49	66	6%	104	63
田辺	9	10%	7.0	51	129	12%	101	61
新宮	8	9%	11.8	62	73	7%	107	65

出　典	平成27年医療施設調査　厚生労働省 平成27年10月	平成27年医療施設調査　厚生労働省 平成27年10月

資_図表 30-5　診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数（再掲）	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
和歌山県	1,065	1.1%	111	67	983	1.1%	102	66	82	1.0%	8.5	54
和歌山	518	49%	122	73	477	49%	112	71	41	50%	9.6	55
那賀	108	10%	93	57	100	10%	86	57	8	10%	6.9	51
橋本	93	9%	105	64	88	9%	100	64	5	6%	5.7	49
有田	78	7%	105	64	73	7%	98	64	5	6%	6.7	51
御坊	66	6%	104	63	64	7%	101	65	2	2%	3.1	45
田辺	129	12%	101	61	117	12%	91	60	12	15%	9.4	55
新宮	73	7%	107	65	64	7%	94	61	9	11%	13.2	61

出　典	平成27年医療施設調査　厚生労働省 平成27年10月	平成27年医療施設調査　厚生労働省 平成27年10月	平成27年医療施設調査　厚生労働省 平成27年10月

資_図表 30-6　病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院＋診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
和歌山県	13,656	0.9%	1,417	54	1,208	1.1%	125	54	14,864	0.9%	1,543	54
和歌山	6,567	48%	1,544	56	578	48%	136	55	7,145	48%	1,680	57
那賀	1,214	9%	1,046	46	140	12%	121	54	1,354	9%	1,167	47
橋本	896	7%	1,014	46	94	8%	106	52	990	7%	1,121	46
有田	931	7%	1,254	50	71	6%	96	51	1,002	7%	1,349	51
御坊	1,011	7%	1,590	57	37	3%	58	47	1,048	7%	1,648	56
田辺	1,760	13%	1,373	53	158	13%	123	54	1,918	13%	1,497	53
新宮	1,277	9%	1,880	63	130	11%	191	61	1,407	9%	2,071	64
出　典	平成27年医療施設調査　厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査　厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 30-7　病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
和歌山県	8,729	1.0%	906	59	2,776	0.8%	288	51	2,099	0.6%	218	48
和歌山	4,571	52%	1,075	66	1,163	42%	274	51	825	39%	194	47
那賀	660	8%	569	44	329	12%	283	51	221	11%	190	47
橋本	669	8%	757	52	103	4%	117	43	120	6%	136	44
有田	392	4%	528	42	235	8%	316	53	300	14%	404	56
御坊	836	10%	1,314	77	51	2%	80	41	100	5%	157	45
田辺	1,009	12%	787	54	549	20%	428	58	198	9%	154	45
新宮	592	7%	871	57	346	12%	509	62	335	16%	493	61
出　典	平成27年医療施設調査　厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査　厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査　厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 30-8　回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
和歌山県	798	1.1%	83	55	847	1.4%	88	55
和歌山	434	54%	102	59	386	46%	91	56
那賀	94	12%	81	55	122	14%	105	58
橋本	90	11%	102	59	104	12%	118	61
有田	40	5%	54	49	85	10%	114	60
御坊	45	6%	71	53	62	7%	97	57
田辺	95	12%	74	53	38	4%	30	45
新宮	0	0%	0	38	50	6%	74	53
出　典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 30-9　公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値 *全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
和歌山県	6,863	5,526	494	6,845	3,206	2,278	63.3%	55	17.8%	54
和歌山	2,801	2,486	114	3,819	2,085	1,049	54.4%	51	9.8%	50
那賀	440	436	0	774	224	329	66.1%	56	0.0%	46
橋本	404	400	0	492	269	103	59.8%	53	0.0%	46
有田	641	257	80	290	135	155	65.6%	56	34.0%	61
御坊	729	605	0	282	231	51	72.4%	58	0.0%	46
田辺	1,264	862	200	495	150	345	85.2%	64	36.7%	62
新宮	584	480	100	693	112	246	81.1%	62	28.9%	59

出　典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関（日赤など）としている。

資_図表 30-10　全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
和歌山県	20,772	0.7%	2,156	49	7,584	0.7%	787	49
和歌山	13,008	63%	3,059	58	3,288	43%	773	49
那賀	1,380	7%	1,189	40	552	7%	476	38
橋本	1,392	7%	1,576	44	1,032	14%	1,168	63
有田	672	3%	905	37	300	4%	404	36
御坊	912	4%	1,434	42	600	8%	943	55
田辺	2,748	13%	2,144	49	1,056	14%	824	51
新宮	660	3%	972	38	756	10%	1,113	61

出　典	平成26年医療施設調査　厚生労働省 平成26年10月	平成26年医療施設調査　厚生労働省 平成26年10月

資_図表 30-11　医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
和歌山県	3,116	0.9%	323	56	1,850	0.9%	192	54	1,266	1.0%	131	59
和歌山	1,823	59%	429	68	1,171	63%	275	66	652	52%	153	66
那賀	238	8%	205	42	114	6%	99	39	124	10%	107	51
橋本	229	7%	259	49	109	6%	123	43	120	9%	136	61
有田	138	4%	186	40	66	4%	89	38	72	6%	97	48
御坊	168	5%	264	49	94	5%	148	47	74	6%	116	54
田辺	339	11%	264	49	195	11%	152	47	144	11%	112	53
新宮	182	6%	267	50	101	5%	148	47	81	6%	119	55

出　典	病院医師数と診療所医師数の合計	平成27年病院報告　厚生労働省 平成27年10月	平成26年医療施設調査　厚生労働省 平成26年10月

資_図表 30-12　専門医数（総合内科、小児科、産婦人科）

二次医療圏	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
和歌山県	144	0.9%	14.9	54	111	0.9%	11.5	54	95	0.9%	9.9	54
和歌山	75	52%	17.6	58	64	58%	15.1	62	57	60%	13.4	64
那賀	14	10%	12.1	50	17	15%	14.6	61	6	6%	5.2	42
橋本	10	7%	11.3	48	4	4%	4.5	38	9	9%	10.2	55
有田	10	7%	13.5	52	3	3%	4.0	37	3	3%	4.0	39
御坊	12	8%	18.9	60	6	5%	9.4	49	4	4%	6.3	45
田辺	21	15%	16.4	56	12	11%	9.4	49	10	11%	7.8	49
新宮	2	1%	2.9	36	5	5%	7.4	44	6	6%	8.8	52

出　典　平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成26年12月

資_図表 30-13　専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
和歌山県	43	0.8%	4.5	51	76	0.8%	7.9	52	61	0.8%	6.3	52
和歌山	27	63%	6.3	61	50	66%	11.8	64	40	66%	9.4	64
那賀	4	9%	3.4	47	2	3%	1.7	32	8	13%	6.9	54
橋本	2	5%	2.3	41	8	11%	9.1	55	2	3%	2.3	36
有田	1	2%	1.3	36	6	8%	8.1	52	3	5%	4.0	43
御坊	1	2%	1.6	38	1	1%	1.6	31	3	5%	4.7	45
田辺	5	12%	3.9	49	7	9%	5.5	44	4	7%	3.1	39
新宮	3	7%	4.4	51	2	3%	2.9	36	1	2%	1.5	33

出　典　平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成26年12月

資_図表 30-14　専門医数（精神科、外科、整形外科）

二次医療圏	精神科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	外科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	整形外科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
和歌山県	45	0.5%	4.7	45	175	0.9%	18.2	53	148	1.0%	15.4	57
和歌山	23	51%	5.4	47	94	54%	22.1	59	84	57%	19.8	67
那賀	1	2%	0.9	34	14	8%	12.1	44	10	7%	8.6	42
橋本	4	9%	4.5	44	12	7%	13.6	46	9	6%	10.2	46
有田	8	18%	10.8	62	6	3%	8.1	38	5	3%	6.7	38
御坊	2	4%	3.1	40	11	6%	17.3	52	15	10%	23.6	76
田辺	4	9%	3.1	40	29	17%	22.6	60	16	11%	12.5	51
新宮	3	7%	4.4	44	9	5%	13.2	46	9	6%	13.2	53

出　典　平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成26年12月

資_図表 30-15　専門医数（泌尿器科、脳神経外科、放射線科）

二次医療圏	泌尿器科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	脳神経外科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	放射線科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
和歌山県	43	0.8%	4.5	50	66	1.0%	6.8	58	42	0.8%	4.4	51
和歌山	25	58%	5.9	57	39	59%	9.2	68	31	74%	7.3	61
那賀	4	9%	3.4	45	5	8%	4.3	47	2	5%	1.7	42
橋本	3	7%	3.4	45	8	12%	9.1	67	1	2%	1.1	40
有田	2	5%	2.7	41	1	2%	1.3	34	0	0%	0	36
御坊	1	2%	1.6	36	5	8%	7.9	62	2	5%	3.1	46
田辺	6	14%	4.7	51	6	9%	4.7	49	4	10%	3.1	46
新宮	2	5%	2.9	42	2	3%	2.9	41	2	5%	2.9	46

出　典　平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成26年12月

資_図表 30-16　専門医数（麻酔科、病理、救急科）

二次医療圏	麻酔科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病理専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	救急科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
和歌山県	52	0.8%	5.4	51	8	0.5%	0.8	46	31	0.9%	3.2	54
和歌山	36	69%	8.5	61	4	50%	0.9	47	19	61%	4.5	61
那賀	4	8%	3.4	44	0	0%	0	37	2	6%	1.7	45
橋本	5	10%	5.7	52	1	13%	1.1	49	1	3%	1.1	41
有田	1	2%	1.3	37	0	0%	0	37	0	0%	0	35
御坊	3	6%	4.7	49	1	13%	1.6	54	1	3%	1.6	44
田辺	2	4%	1.6	38	2	25%	1.6	54	7	23%	5.5	67
新宮	1	2%	1.5	38	0	0%	0	37	1	3%	1.5	43

出　典　平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成26年12月

資_図表 30-17　専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
和歌山県	7	0.4%	0.7	43	32	1.4%	3.3	61
和歌山	5	71%	1.2	47	22	69%	5.2	75
那賀	0	0%	0	37	2	6%	1.7	49
橋本	1	14%	1.1	46	1	3%	1.1	44
有田	0	0%	0	37	1	3%	1.3	46
御坊	0	0%	0	37	2	6%	3.1	60
田辺	1	14%	0.8	43	3	9%	2.3	54
新宮	0	0%	0	37	1	3%	1.5	47

出　典　平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成26年12月

資_図表 30-18　看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
和歌山県	9,665	0.9%	1,003	54	7,893	0.9%	819	54	1,771	0.9%	184	54
和歌山	4,930	51%	1,159	60	4,083	52%	960	60	847	48%	199	56
那賀	766	8%	660	42	579	7%	499	41	187	11%	161	51
橋本	649	7%	734	45	504	6%	571	44	144	8%	163	51
有田	603	6%	812	48	494	6%	665	48	109	6%	146	49
御坊	736	8%	1,157	60	610	8%	958	60	127	7%	199	56
田辺	1,321	14%	1,030	55	1,105	14%	862	56	215	12%	168	52
新宮	661	7%	972	53	518	7%	763	52	142	8%	210	57
出　典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告　厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査　厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 30-19　総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
和歌山県	1,129	0.9%	117	53	2,163	0.8%	224	50
和歌山	523	46%	123	54	1,231	57%	289	57
那賀	129	11%	111	52	191	9%	165	43
橋本	110	10%	125	55	196	9%	222	49
有田	71	6%	96	49	135	6%	182	45
御坊	107	10%	169	63	130	6%	204	48
田辺	140	12%	109	52	171	8%	133	40
新宮	48	4%	70	45	109	5%	160	43
出　典	平成27年病院報告　厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省　平成26年12月			

資_図表 30-20　在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
和歌山県	157	1.2%	1.1	55	15	1.2%	0.1	54	143	1.4%	1.0	65
和歌山	87	55%	1.4	63	10	67%	0.2	64	69	48%	1.1	73
那賀	22	14%	1.6	68	2	13%	0.1	61	15	10%	1.1	71
橋本	16	10%	1.2	58	0	0%	0	38	13	9%	0.9	64
有田	3	2%	0.2	36	2	13%	0.2	64	7	5%	0.6	46
御坊	10	6%	0.9	53	0	0%	0	38	6	4%	0.6	46
田辺	11	7%	0.5	43	1	7%	0.0	45	22	15%	1.0	68
新宮	8	5%	0.6	44	0	0%	0	38	11	8%	0.8	56
出　典	届出受理医療機関名簿　地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿　地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省　平成29年5月			

資_図表 30-21　総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員（病床）数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員（病床）数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
和歌山県	15,462	0.9%	104	50	9,925	1.0%	67	54	5,537	0.8%	37	47
和歌山	6,708	43%	108	52	3,458	35%	55	45	3,250	59%	52	56
那賀	1,447	9%	104	50	1,031	10%	74	60	416	8%	30	42
橋本	1,293	8%	93	44	1,007	10%	73	59	286	5%	21	36
有田	1,343	9%	108	52	892	9%	71	58	451	8%	36	46
御坊	1,175	8%	109	53	954	10%	89	72	221	4%	21	36
田辺	2,295	15%	107	52	1,621	16%	75	61	674	12%	31	43
新宮	1,201	8%	84	38	962	10%	67	55	239	4%	17	34
出　典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 30-22　老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	特別養護老人ホーム（特養）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
和歌山県	3,447	0.9%	23	51	5,854	1.0%	39	54	624	1.0%	4.2	50
和歌山	1,379	40%	22	49	1,842	31%	30	44	237	38%	3.8	50
那賀	284	8%	20	46	650	11%	47	62	97	16%	7.0	57
橋本	357	10%	26	55	640	11%	46	61	10	2%	0.7	42
有田	292	8%	23	51	600	10%	48	63	0	0%	0	40
御坊	284	8%	26	57	660	11%	61	77	10	2%	0.9	43
田辺	553	16%	26	55	854	15%	40	55	214	34%	9.9	64
新宮	298	9%	21	47	608	10%	43	58	56	9%	3.9	50
出　典	平成29年5月　都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-23　有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
和歌山県	615	0.3%	4.1	41	273	1.2%	1.8	52	1,856	0.9%	12.4	51
和歌山	504	82%	8.1	44	53	19%	0.9	47	986	53%	15.8	56
那賀	44	7%	3.2	40	0	0%	0	43	170	9%	12.3	50
橋本	0	0%	0	37	30	11%	2.2	53	108	6%	7.8	42
有田	0	0%	0	37	82	30%	6.6	74	162	9%	13.0	51
御坊	0	0%	0	37	50	18%	4.7	65	115	6%	10.7	48
田辺	67	11%	3.1	40	0	0%	0	43	198	11%	9.2	45
新宮	0	0%	0	37	58	21%	4.1	62	117	6%	8.2	43
出　典	平成29年5月　都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-24　サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住（全施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	サ高住（特定施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	サ高住（非特定施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
和歌山県	2,793	1.2%	18.7	56	167	1.1%	1.1	51	2,626	1.2%	17.6	56
和歌山	1,707	61%	27.4	68	53	32%	0.9	49	1,654	63%	26.5	69
那賀	202	7%	14.6	50	0	0%	0	44	202	8%	14.6	52
橋本	148	5%	10.7	45	6	4%	0.4	47	142	5%	10.2	45
有田	207	7%	16.6	53	94	56%	7.5	89	113	4%	9.1	43
御坊	56	2%	5.2	37	0	0%	0	44	56	2%	5.2	38
田辺	409	15%	19.0	56	14	8%	0.6	48	395	15%	18.3	57
新宮	64	2%	4.5	36	0	0%	0	44	64	2%	4.5	37
出　典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月　都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月　国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 30-25　介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数（施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数（訪問）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
和歌山県	1,717	1.0%	11.5	55	1,150	1.0%	7.7	52	568	1.2%	3.8	60
和歌山	703	41%	11.3	54	442	38%	7.1	49	262	46%	4.2	64
那賀	191	11%	13.7	65	122	11%	8.8	57	69	12%	5.0	72
橋本	148	9%	10.6	52	99	9%	7.1	49	49	9%	3.5	57
有田	115	7%	9.2	46	84	7%	6.8	47	31	5%	2.4	46
御坊	121	7%	11.3	54	93	8%	8.7	56	28	5%	2.6	48
田辺	292	17%	13.6	64	206	18%	9.5	60	87	15%	4.0	62
新宮	147	9%	10.3	50	104	9%	7.3	50	43	8%	3.0	52
出　典	平成29年5月　都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-26　介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数（介護施設等）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数（在宅）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
和歌山県	17,050	1.2%	114	69	12,648	1.0%	85	57	4,402	2.0%	29.5	78
和歌山	7,157	42%	115	70	4,927	39%	79	52	2,230	51%	35.8	89
那賀	1,669	10%	120	74	1,279	10%	92	64	390	9%	28.1	75
橋本	1,552	9%	112	67	1,250	10%	90	62	302	7%	21.8	64
有田	1,328	8%	106	63	1,136	9%	91	63	193	4%	15.4	53
御坊	1,239	7%	115	70	1,079	9%	100	71	160	4%	14.9	52
田辺	2,587	15%	120	74	1,909	15%	89	61	678	15%	31.5	81
新宮	1,518	9%	106	63	1,069	8%	75	49	449	10%	31.5	81
出　典	平成29年5月　都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-27　在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問介護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
和歌山県	12,595	1.2%	84	56	6,635	1.5%	45	64	26,000	1.8%	174	76
和歌山	7,909	63%	127	69	2,149	32%	34	55	12,991	50%	208	86
那賀	1,181	9%	85	56	508	8%	37	57	1,891	7%	136	64
橋本	856	7%	62	48	759	11%	55	72	1,989	8%	143	66
有田	579	5%	46	44	339	5%	27	49	1,333	5%	107	55
御坊	445	4%	41	42	467	7%	43	63	965	4%	90	49
田辺	1,092	9%	51	45	1,785	27%	83	96	3,954	15%	184	79
新宮	533	4%	37	41	628	9%	44	64	2,877	11%	202	84

出　典	平成29年5月　都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 30-28　総人口の推移と医療需要[8]の増減（医療費ベース）

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025) 2005年	2015年	2005→15年増減率	2025年（推計）	2005→25年増減率	医療需要推移（医療費ベース）(2005→2015→2025) 2005→15年増減率	2015→25年増減率	2005→25年増減率
全国		127,767,994	127,094,745	−1%	120,699,960	−6%	12%	6%	18%
和歌山県		1,035,969	963,579	−7%	869,182	−16%	4%	−1%	4%
和歌山	地方都市型	444,978	425,220	−4%	384,398	−14%	8%	0%	7%
那賀	地方都市型	118,696	116,068	−2%	110,522	−7%	10%	7%	17%
橋本	過疎地域型	98,347	88,342	−10%	78,908	−20%	3%	0%	3%
有田	過疎地域型	83,596	74,255	−11%	65,217	−22%	−1%	−3%	−4%
御坊	過疎地域型	70,535	63,603	−10%	56,861	−19%	−2%	−3%	−4%
田辺	過疎地域型	140,409	128,161	−9%	115,714	−18%	1%	−1%	0%
新宮	過疎地域型	79,408	67,930	−14%	57,562	−28%	−3%	−6%	−9%

出　典	＜人口(2005年)＞平成17年国勢調査　都道府県・市区町村別統計表（男女別人口,年齢（3区分）・割合,就業者数,昼間人口など） ＜人口(2015年)＞平成27年国勢調査　人口等基本集計 平成27年10月 ＜人口(2025年)＞日本の地域別将来推計人口　国立社会保障・人口問題研究所　平成25年3月

資_図表 30-29　病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年 数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	2014年 数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	2004→2014増減 増減数	増減率	2025年 推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	−584	−6%	7,882
和歌山県	92	8.9	55	86	8.9	55	−6	−7%	80
和歌山	49	11.0	60	45	10.6	59	−4	−8%	41
那賀	7	5.9	47	8	6.9	51	1	14%	9
橋本	8	8.1	53	6	6.8	50	−2	−25%	4
有田	6	7.2	50	6	8.1	53	0	0%	6
御坊	4	5.7	46	4	6.3	49	0	0%	4
田辺	9	6.4	48	9	7.0	51	0	0%	9
新宮	9	11.3	61	8	11.8	62	−1	−11%	7

出　典	＜病院数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜病院数2014年＞平成26年医療施設調査　厚生労働省　平成26年10月

資_図表 30-30　診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
和歌山県	1,084	105	64	1,070	111	67	−14	−1%	1,055
和歌山	533	120	72	522	123	73	−11	−2%	510
那賀	112	94	59	107	92	57	−5	−4%	102
橋本	94	96	60	93	105	64	−1	−1%	92
有田	79	95	59	78	105	64	−1	−1%	77
御坊	66	94	59	68	107	65	2	3%	70
田辺	121	86	55	129	101	62	8	7%	138
新宮	79	99	62	73	107	65	−6	−8%	66

出　典	＜診療所数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜診療所数2014年＞平成26年医療施設調査　厚生労働省　平成26年10月

資_図表 30-31　医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
和歌山県	2,602	251	55	2,791	290	55	189	7%	2,999
和歌山	1,523	342	66	1,677	394	66	154	10%	1,846
那賀	183	154	43	184	159	41	1	1%	185
橋本	182	185	47	182	206	46	0	0%	182
有田	138	165	44	130	175	43	−8	−6%	121
御坊	148	210	50	156	245	50	8	5%	165
田辺	263	187	47	311	243	50	48	18%	364
新宮	165	208	50	151	222	48	−14	−8%	136

出　典	＜総医師数2004年＞平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成16年12月 ＜総医師数2014年＞平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成26年12月

資_図表 30-32　総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口1万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口1万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	−131,929	−7%	1,535,514
和歌山県	16,846	163	54	15,136	157	54	−1,710	−10%	13,256
和歌山	8,312	187	58	7,244	170	57	−1,068	−13%	6,069
那賀	1,312	111	44	1,391	120	48	79	6%	1,478
橋本	1,104	112	45	990	112	46	−114	−10%	865
有田	1,137	136	49	1,012	136	51	−125	−11%	875
御坊	1,272	180	57	1,105	174	57	−167	−13%	921
田辺	2,074	148	51	1,922	150	53	−152	−7%	1,755
新宮	1,635	206	61	1,472	217	65	−163	−10%	1,293

出　典	＜総病床数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜総病床数2014年＞平成26年医療施設調査　厚生労働省　平成26年10月

資_図表 30-33　一般病床数(病院＋診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口1万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口1万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率	数	人口1万当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	−73,651	−7%	914,162	76
和歌山県	10,837	105	57	9,967	103	59	−870	−8%	9,010	104
和歌山	5,563	125	65	5,173	122	66	−390	−7%	4,744	123
那賀	767	65	43	807	70	47	40	5%	851	77
橋本	823	84	50	772	87	53	−51	−6%	716	91
有田	614	73	46	447	60	43	−167	−27%	263	40
御坊	987	140	70	914	144	74	−73	−7%	834	147
田辺	1,185	84	50	1,114	87	53	−71	−6%	1,036	90
新宮	898	113	60	740	109	61	−158	−18%	566	98

出　典	＜一般病床数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜一般病床数2014年＞平成26年医療施設調査　厚生労働省　平成26年10月

資_図表 30-34　療養病床数(病院＋診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上1,000人当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	−34,269	−9%	301,883	14
和歌山県	3,108	26	46	2,965	20	49	−143	−5%	2,808	15
和歌山	1,378	29	48	1,185	19	48	−193	−14%	973	12
那賀	256	24	45	359	26	54	103	40%	472	24
橋本	157	14	40	94	7	38	−63	−40%	25	1
有田	219	20	43	261	21	50	42	19%	307	21
御坊	123	13	39	67	6	37	−56	−46%	5	0
田辺	577	32	50	606	28	56	29	5%	638	25
新宮	398	31	50	393	28	56	−5	−1%	388	24

出　典	＜一般病床数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜一般病床数2014年＞平成26年医療施設調査　厚生労働省　平成26年10月

資_図表 30-35　後期高齢者の医療費・地域差指数[7]

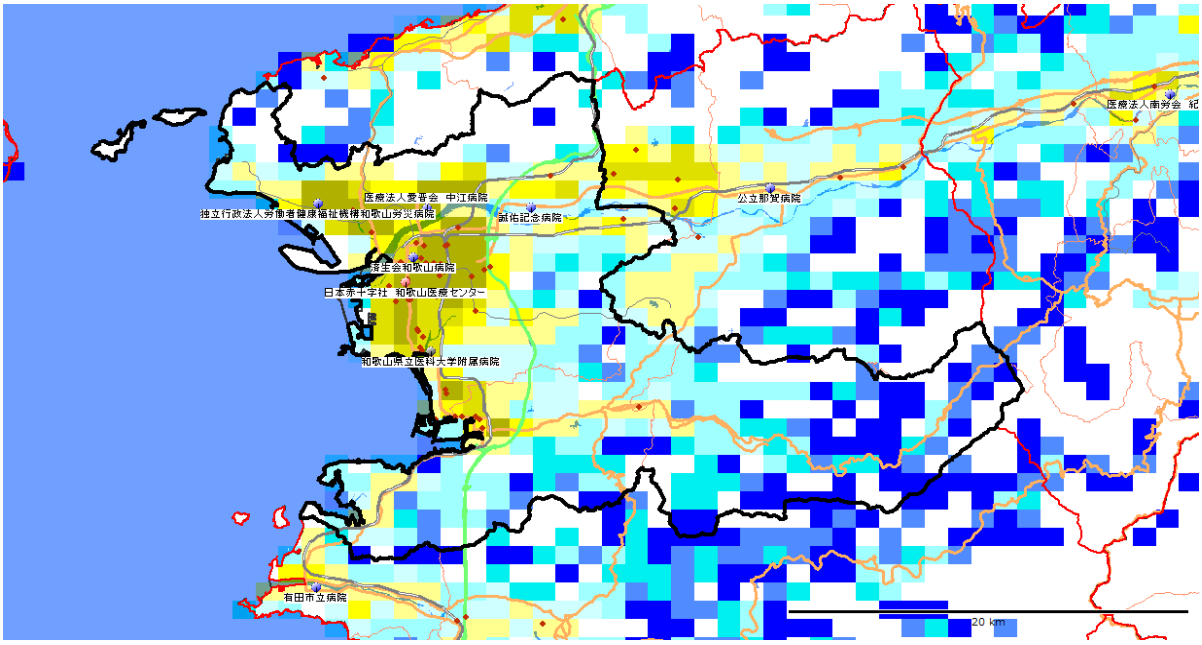
二次医療圏	一人あたり後期高齢者医療費(単位:千円)	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	入院費(単位:千円)	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	入院外＋調剤(単位:千円)	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
和歌山県	925	49	0.979	450	49	0.962	447	51	1.005
和歌山	985	54	1.042	465	51	0.999	488	61	1.093
那賀	960	52	1.010	460	50	0.982	471	57	1.049
橋本	1,019	57	1.067	508	55	1.069	483	60	1.080
有田	909	48	0.958	478	52	1.010	407	42	0.918
御坊	851	43	0.901	427	47	0.904	404	41	0.915
田辺	800	39	0.844	396	44	0.838	379	35	0.856
新宮	795	39	0.841	394	43	0.831	380	35	0.864

出　典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析　厚生労働省

30-1. 和歌山医療圏（わかやま）

構成市区町村[9]　和歌山市　海南市　紀美野町

人口分布[1]（1㎢区画単位）



区画内人口(1平方キロ)
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

(和歌山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照: 資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など: 和歌山(和歌山市)は、総人口約425千人(2015年)、面積438㎢、人口密度は970人/㎢の地方都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測: 和歌山の総人口は2025年に384千人へと減少し(2015年比－10%)、2040年に321千人へと減少する(2025年比－16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の62千人が、2025年にかけて79千人へと増加し(2015年比＋27%)、2040年には72千人へと減少する(2025年比－9%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費: 和歌山の一人当たり医療費(国保)は367千円(偏差値55)、介護給付費は307千円(偏差値65)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度: 和歌山の一人当たり急性期医療密度指数[2]は1.44、一人当たり慢性期医療密度指数[2]は0.79で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

＊医師・看護師の現状: 総医師数[3]の偏差値が68(病院医師数66、診療所医師数66)と、総医師数は非常に多く、病院医師数、診療所医師数ともに、非常に多い。総看護師数の偏差値は60と多い。

＊一般病床等の現状: 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。和歌山には、年間全身麻酔件数が2000例以上の和歌山県立医科大学附属病院(Ⅰ群・救命)、日本赤十字社和歌山医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の和歌山労災病院(Ⅲ群)、500例以上の済生会和歌山病院(Ⅲ群)がある。

＊療養病床の現状: 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

＊リハビリの現状: 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

＊精神病床の現状: 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

＊診療所の現状: 人口当たりの診療所数の偏差値は73で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状: 和歌山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6708人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3458床(偏差値45)、高齢者住宅等が3250床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4927人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム44、軽費ホーム47、グループホーム56、サ高住68である。

＊在宅ケアの現状: 在宅療養支援診療所は偏差値63と多く、在宅療養支援病院は偏差値64と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値73と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、2230人(75歳以上1000人当たりの偏差値89)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

＊介護の2025年の需要予測: 2025年の介護充足度指数[4]は－28%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(和歌山医療圏)　2.　推移と将来推計

【人口と医療需要】

和歌山医療圏の総人口は、2005年444978人が、2015年に425220人と4%減少し、2025年の人口が384398人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

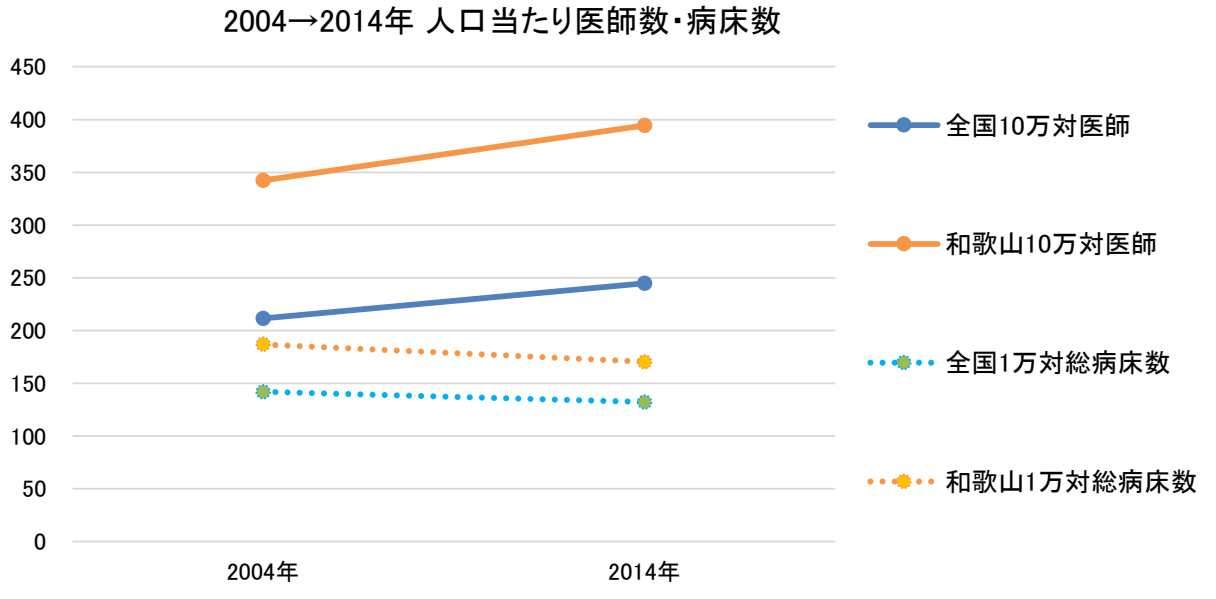
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が49(人口10万人当たり11病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に45(人口10万人当たり10.6病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が533(人口10万人当たり120診療所(全国平均76)偏差値72)であったが、2014年に522(人口10万人当たり123診療所(全国平均79)偏差値73)と、11診療所が減少した。

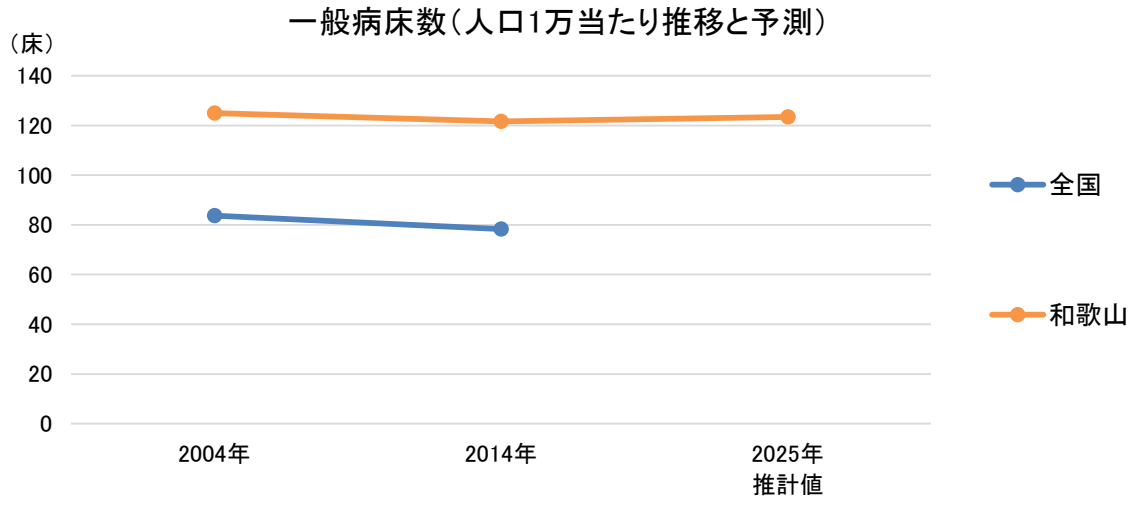
2004年の総病床数が8312床(人口1万人当たり187(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に7244床(人口1万人当たり170(全国平均132)偏差値57)と、1068床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数[3]が1523人(人口10万人当たり342人(全国平均212人)偏差値66)であったが、2014年に1677人(人口10万人当たり394人(全国平均245人)偏差値66)と、154人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



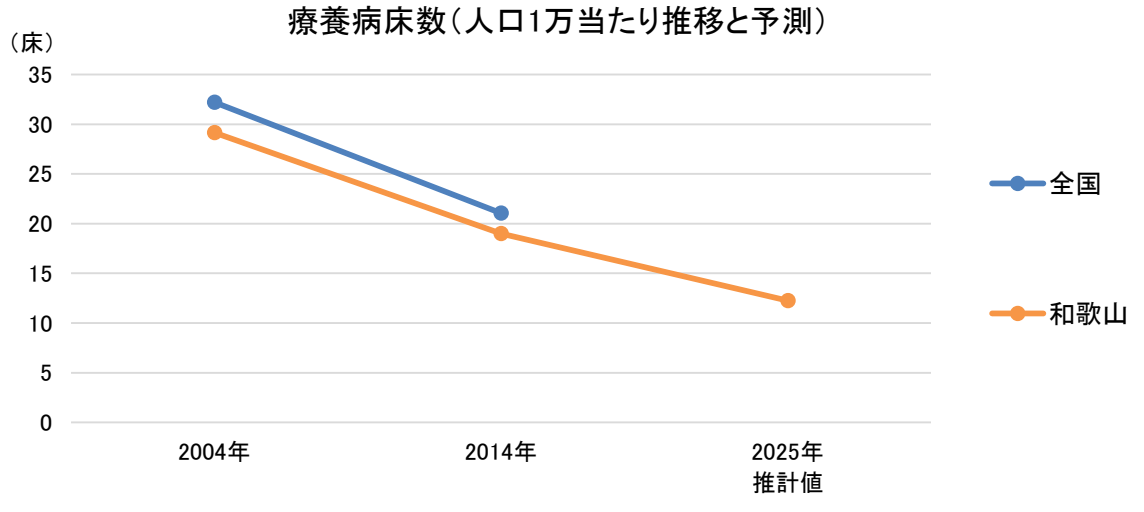
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院＋診療所)が5563床(人口1万人当たり125(全国平均84)偏差値65)であったが、2014年に5173床(人口1万人当たり122(全国平均78)偏差値66)と、390床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4744床(2025年の推計人口1万人当たり123)になることが予想される。



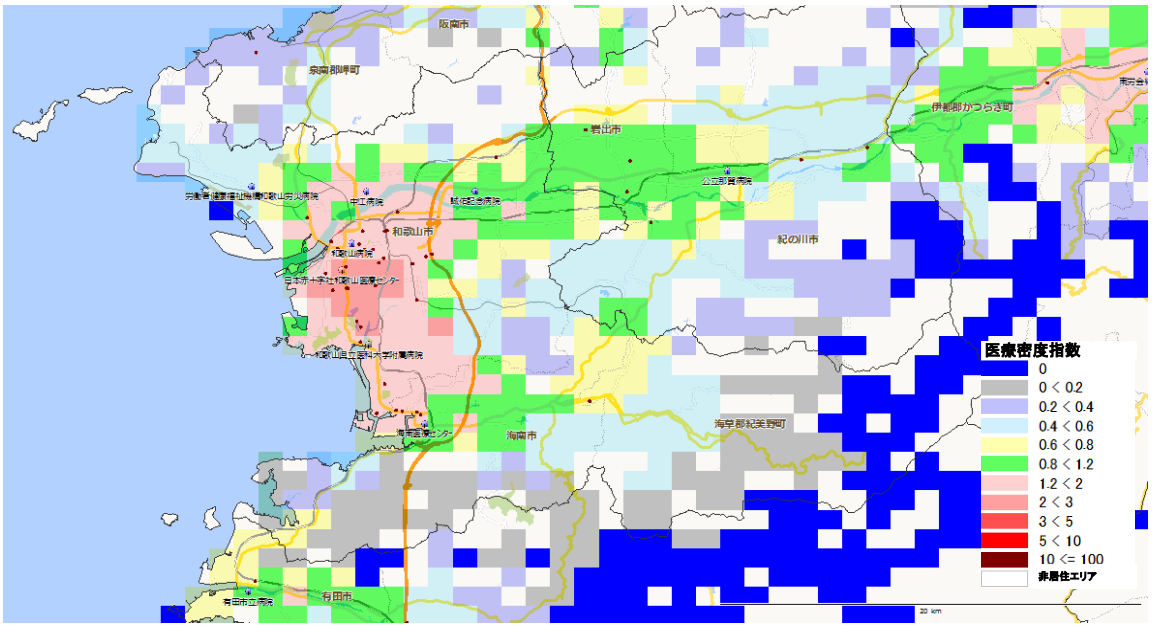
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院＋診療所)が1378床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に1185床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、193床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には973床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



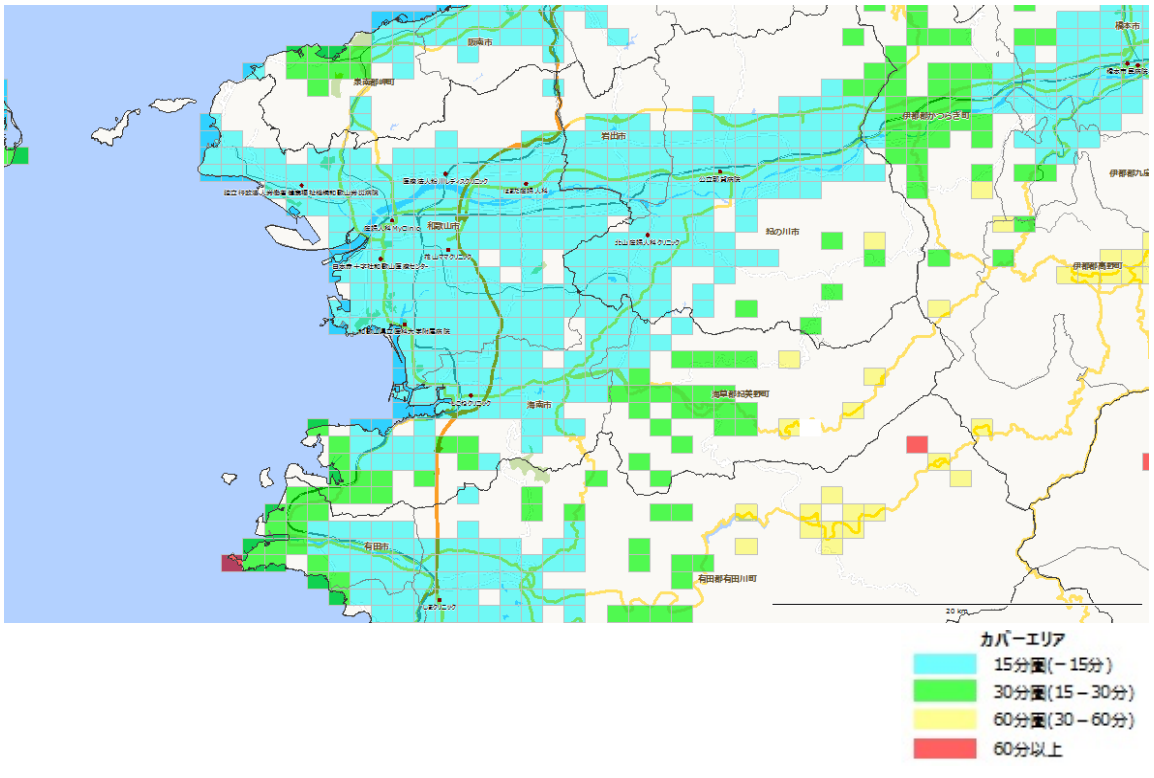
（和歌山医療圏） 3. 医療密度[5]・周産期カバーエリア

図表30-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

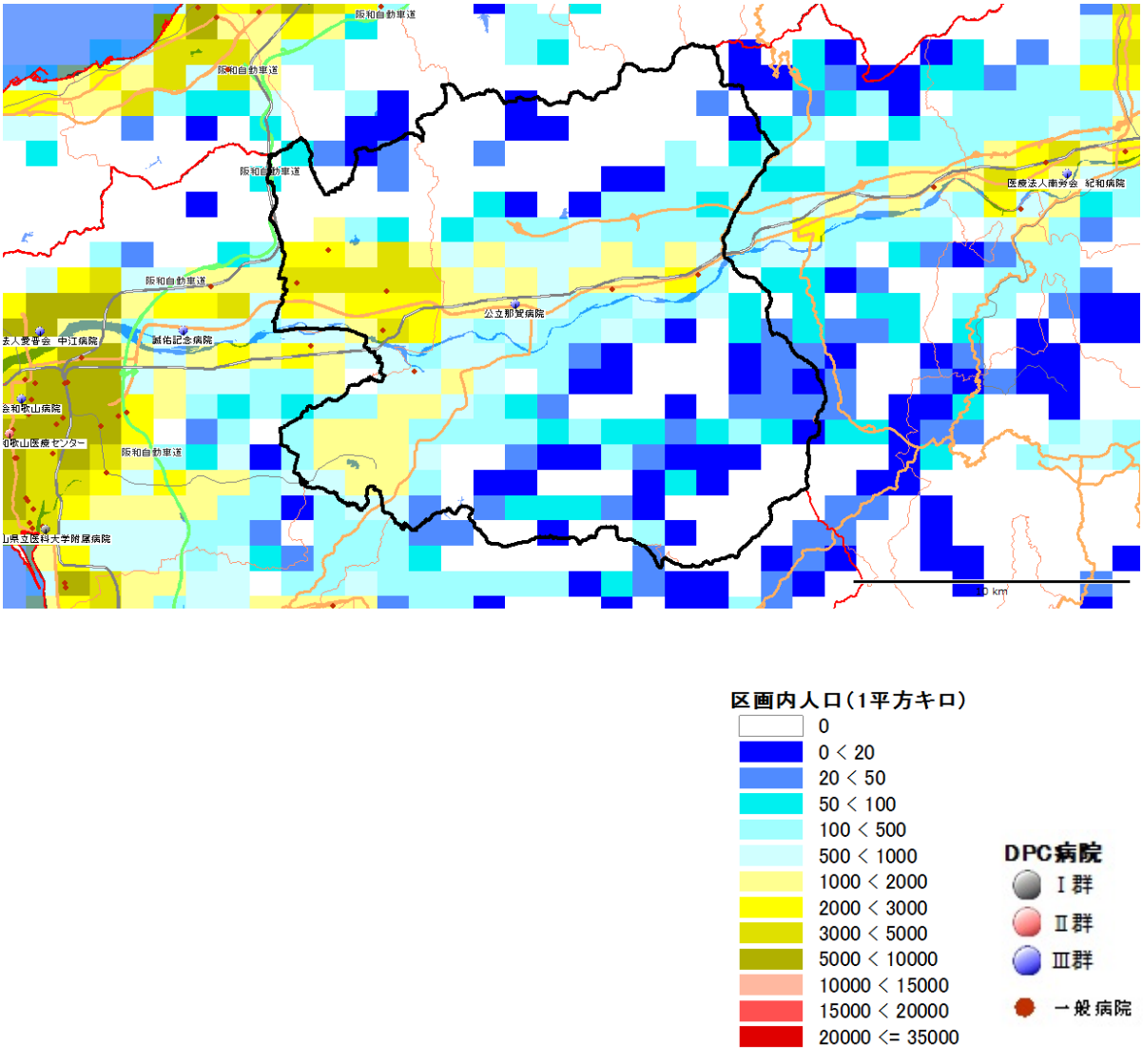
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



30-2. 那賀（なが）医療圏

構成市区町村[9]　紀の川市　　岩出市

人口分布[1]（1㎢区画単位）



(那賀医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照: 資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など: 那賀(紀の川市)は、総人口約116千人(2015年)、面積267㎢、人口密度は435人/㎢の地方都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測: 那賀の総人口は2025年に111千人へと減少し(2015年比－4%)、2040年に97千人へと減少する(2025年比－13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて19千人へと増加し(2015年比＋36%)、2040年には21千人へと増加する(2025年比＋11%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費: 那賀の一人当たり医療費(国保)は342千円(偏差値50)、介護給付費は264千円(偏差値53)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度: 那賀の一人当たり急性期医療密度指数[2]は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数[2]は0.46で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状: 総医師数[3]の偏差値が42(病院医師数39、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

＊一般病床等の現状: 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。那賀には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立那賀病院(Ⅲ群)がある。

＊療養病床の現状: 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

＊リハビリの現状: 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

＊精神病床の現状: 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

＊診療所の現状: 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状: 那賀の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1447人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1031床(偏差値60)、高齢者住宅等が416床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1279人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム50、サ高住50である。

＊在宅ケアの現状: 在宅療養支援診療所は偏差値68と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値71と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、390人(75歳以上1000人当たりの偏差値75)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

＊介護の2025年の需要予測: 2025年の介護充足度指数[4]は－27%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(那賀医療圏)　2.　推移と将来推計

【人口と医療需要】

那賀医療圏の総人口は、2005年118696人が、2015年に116068人と2%減少し、2025年の人口が110522人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

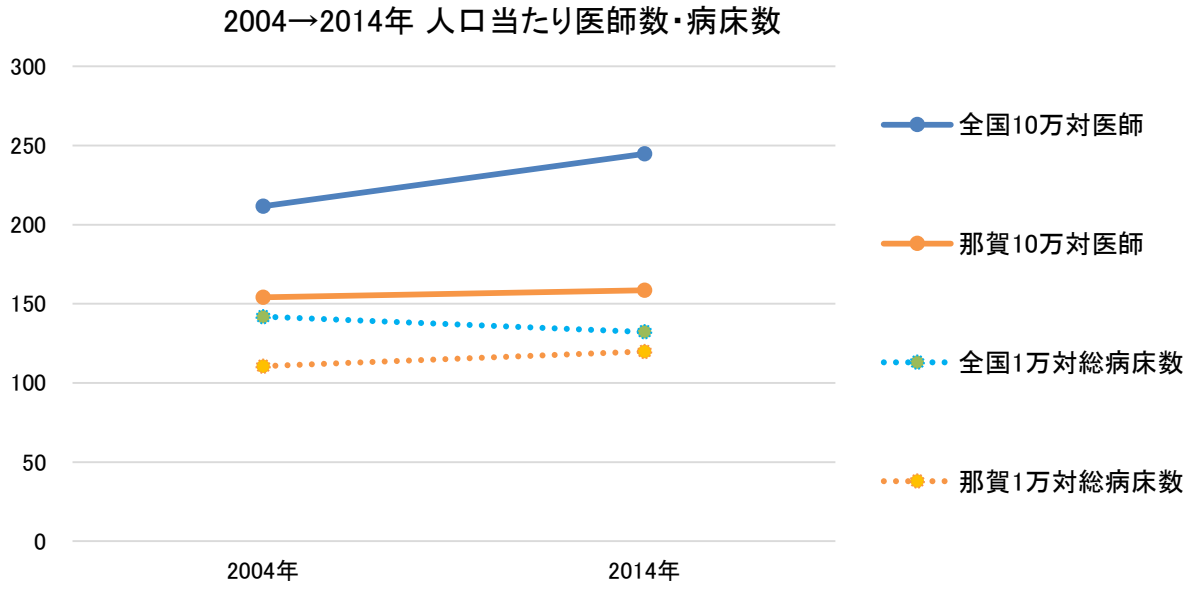
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が7(人口10万人当たり5.9病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に8(人口10万人当たり6.9病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が112(人口10万人当たり94診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2014年に107(人口10万人当たり92診療所(全国平均79)偏差値57)と、5診療所が減少した。

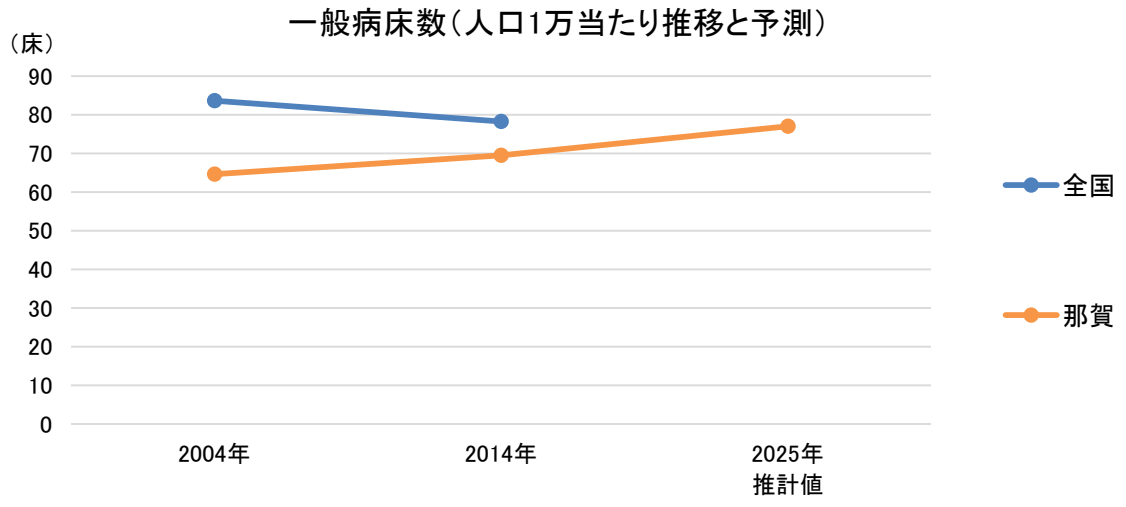
2004年の総病床数が1312床(人口1万人当たり111(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に1391床(人口1万人当たり120(全国平均132)偏差値48)と、79床の増加、率にして6%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数[3]が183人(人口10万人当たり154人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に184人(人口10万人当たり159人(全国平均245人)偏差値41)と、1人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



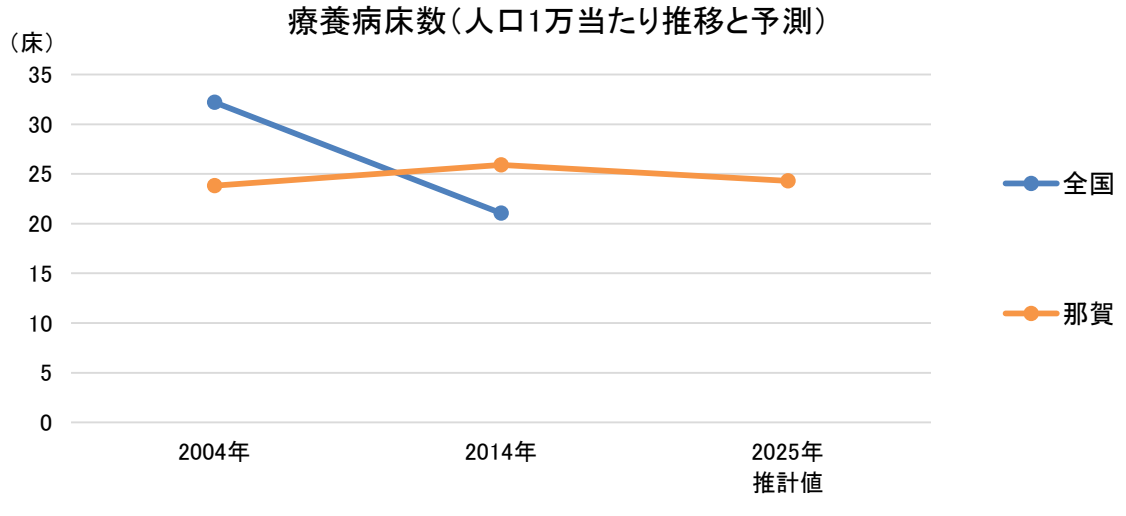
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院＋診療所)が767床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に807床(人口1万人当たり70(全国平均78)偏差値47)と、40床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には851床(2025年の推計人口1万人当たり77)になることが予想される。



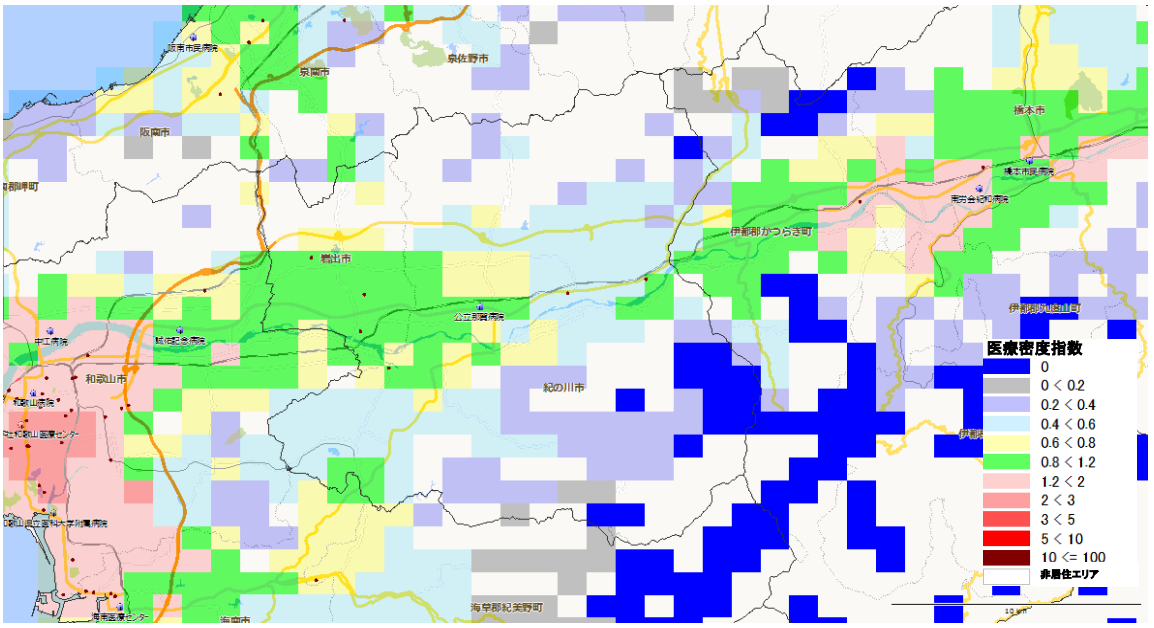
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院＋診療所)が256床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に359床(75歳以上1000人当たり26(全国平均21)偏差値54)と、103床の増加、率にして40%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には472床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。



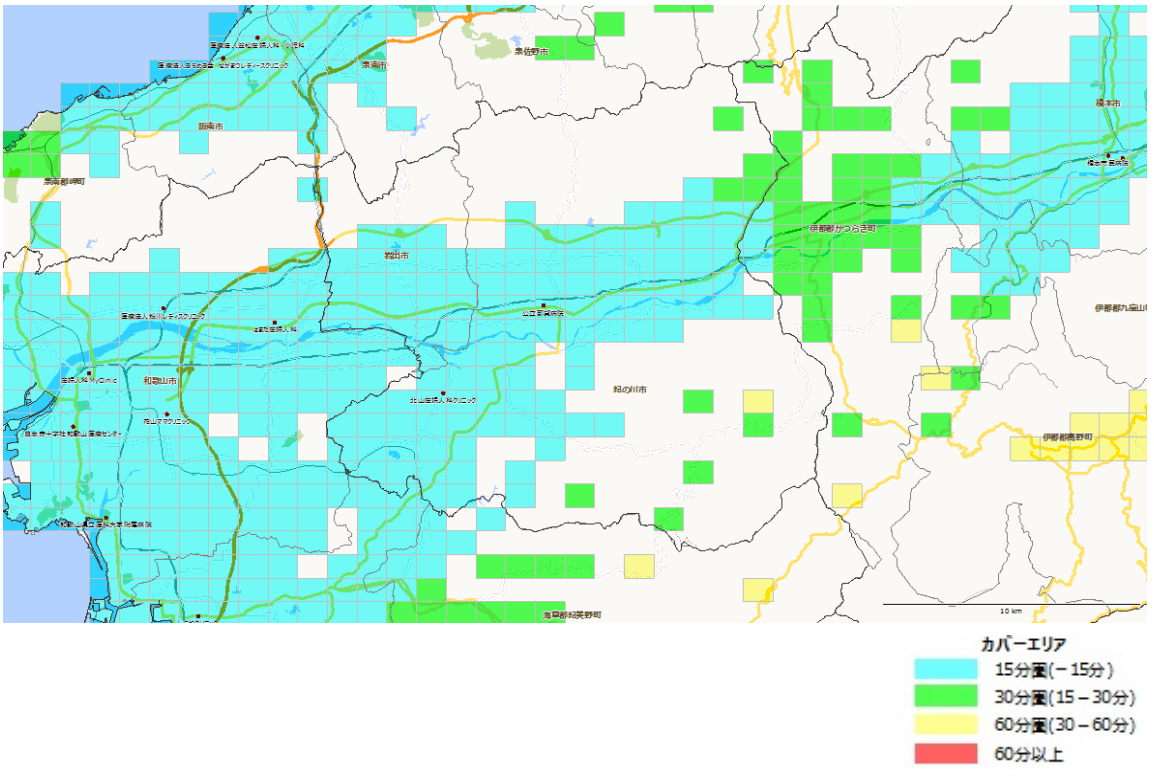
(那賀医療圏)　3.　医療密度[5]・周産期カバーエリア

図表30-2-1　急性期医療密度指数マップ



図表30-2-2　分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

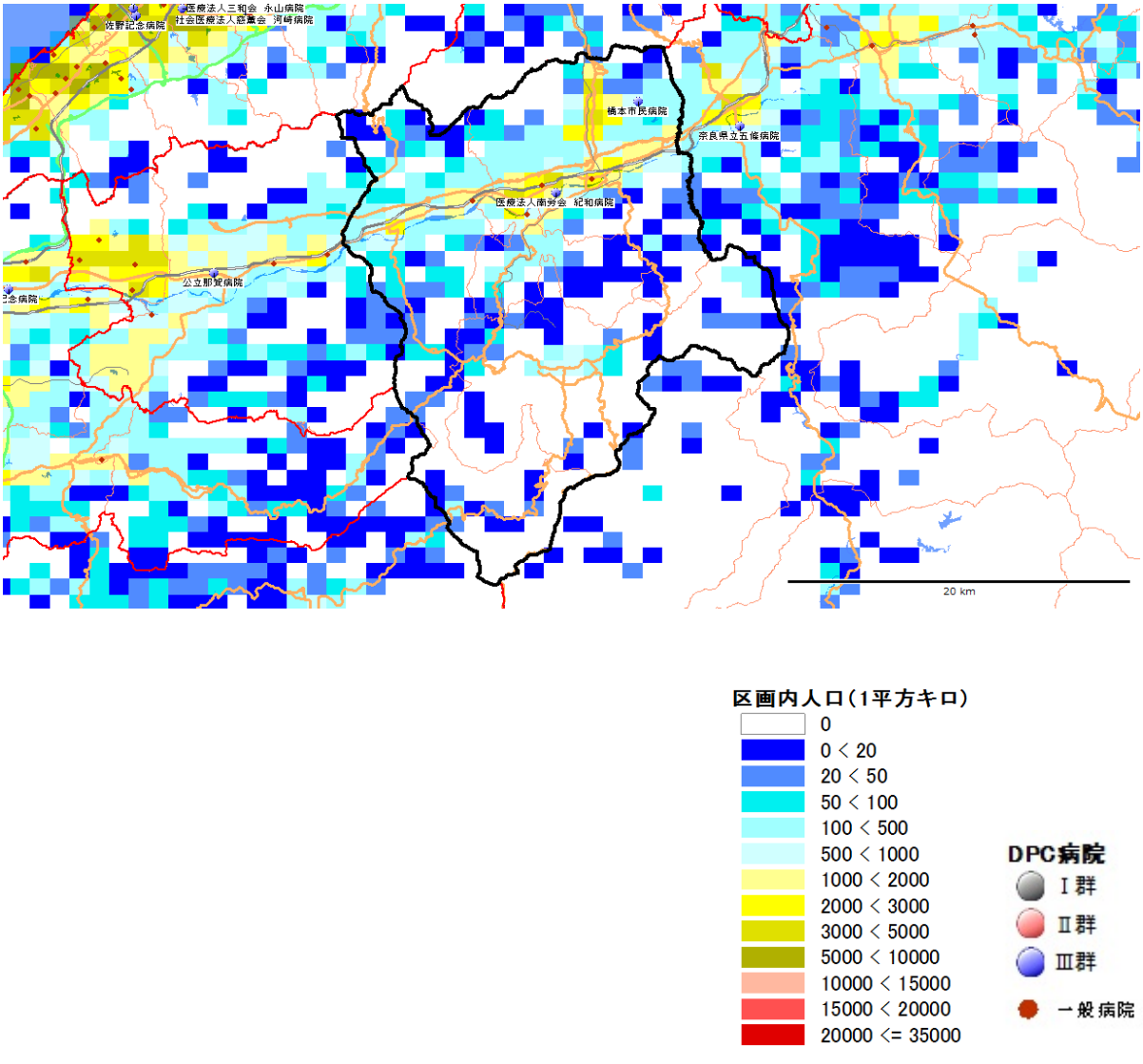
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



30-3. 橋本（はしもと）医療圏

構成市区町村[9]　橋本市　かつらぎ町　九度山町　高野町

人口分布[1]（1㎢区画単位）



(橋本医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照: 資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など: 橋本(橋本市)は、総人口約88千人(2015年)、面積463㎢、人口密度は191人/㎢の過疎地域型二次医療圏である。

＊人口の将来予測: 橋本の総人口は2025年に79千人へと減少し(2015年比－10%)、2040年に63千人へと減少する(2025年比－20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比＋21%)、2040年には17千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費: 橋本の一人当たり医療費(国保)は373千円(偏差値57)、介護給付費は306千円(偏差値65)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度: 橋本の一人当たり急性期医療密度指数[2]は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数[2]は0.89で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

＊医師・看護師の現状: 総医師数[3]の偏差値が49(病院医師数43、診療所医師数61)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

＊一般病床等の現状: 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。橋本には、年間全身麻酔件数が500例以上の橋本市民病院(Ⅲ群)がある。

＊療養病床の現状: 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

＊リハビリの現状: 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

＊精神病床の現状: 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

＊診療所の現状: 人口当たりの診療所数の偏差値は64で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状: 橋本の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1293人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1007床(偏差値59)、高齢者住宅等が286床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1250人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設42、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム53、グループホーム42、サ高住45である。

＊在宅ケアの現状: 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値64と多い。介護職員(在宅)の合計は、302人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

＊介護の2025年の需要予測: 2025年の介護充足度指数[4]は－21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(橋本医療圏)　2.　推移と将来推計

【人口と医療需要】

橋本医療圏の総人口は、2005年98347人が、2015年に88342人と10%減少し、2025年の人口が78908人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

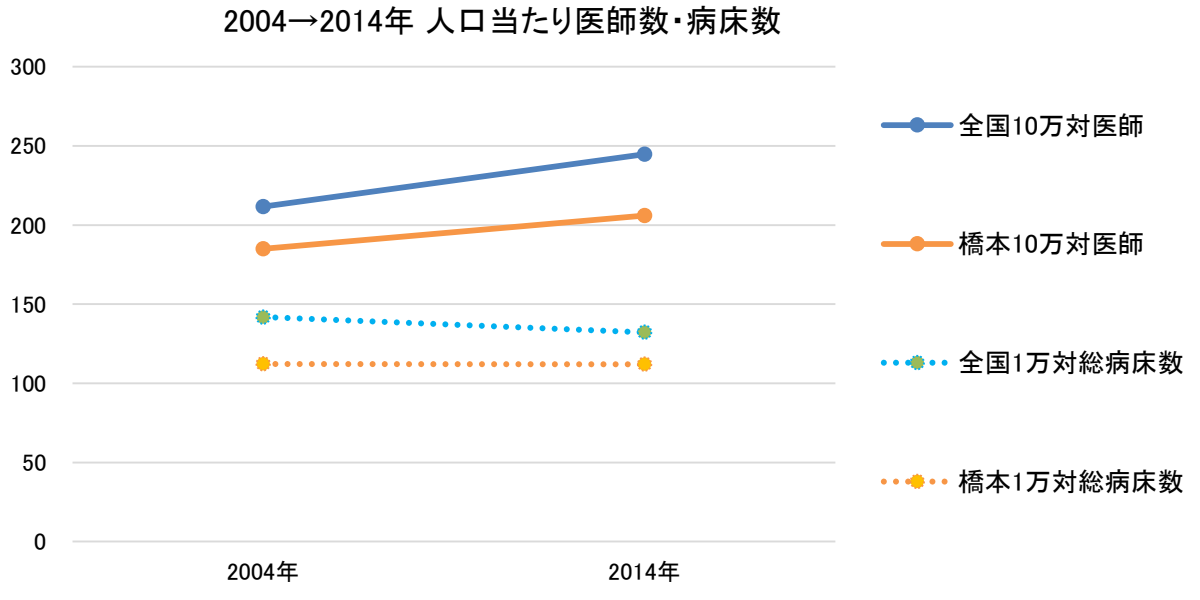
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が8(人口10万人当たり8.1病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に6(人口10万人当たり6.8病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が94(人口10万人当たり96診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2014年に93(人口10万人当たり105診療所(全国平均79)偏差値64)と、1診療所が減少した。

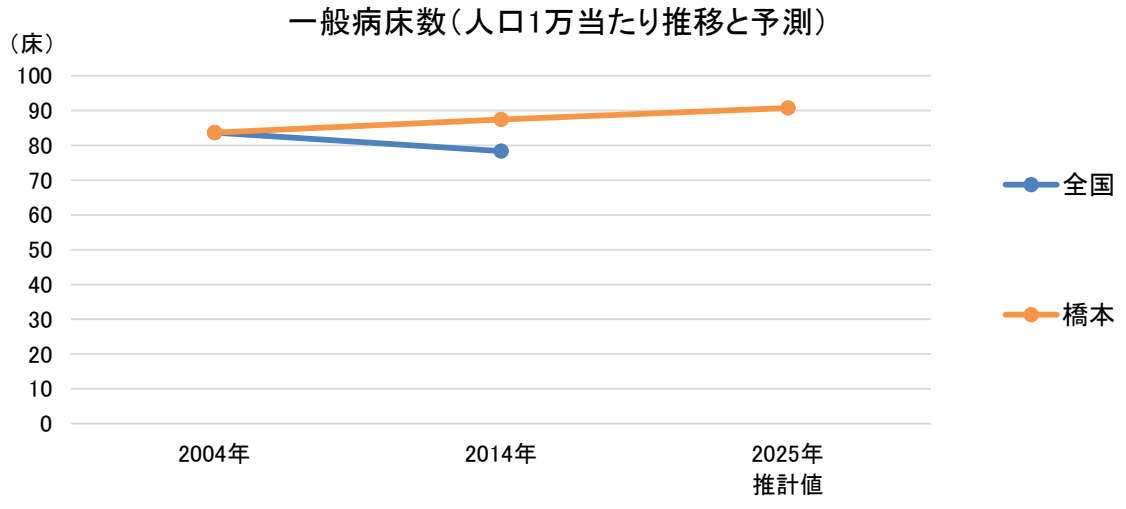
2004年の総病床数が1104床(人口1万人当たり112(全国平均142)偏差値45)であったが、2014年に990床(人口1万人当たり112(全国平均132)偏差値46)と、114床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数[3]が182人(人口10万人当たり185人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に182人(人口10万人当たり206人(全国平均245人)偏差値46)と、増減がなかった(全国平均15%の増加)。



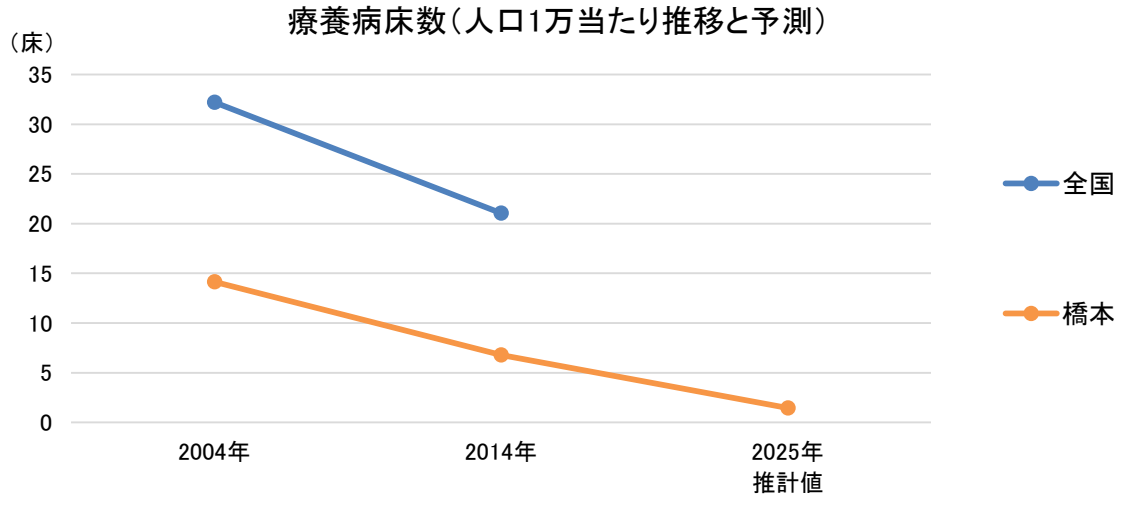
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院＋診療所)が823床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に772床(人口1万人当たり87(全国平均78)偏差値53)と、51床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には716床(2025年の推計人口1万人当たり91)になることが予想される。



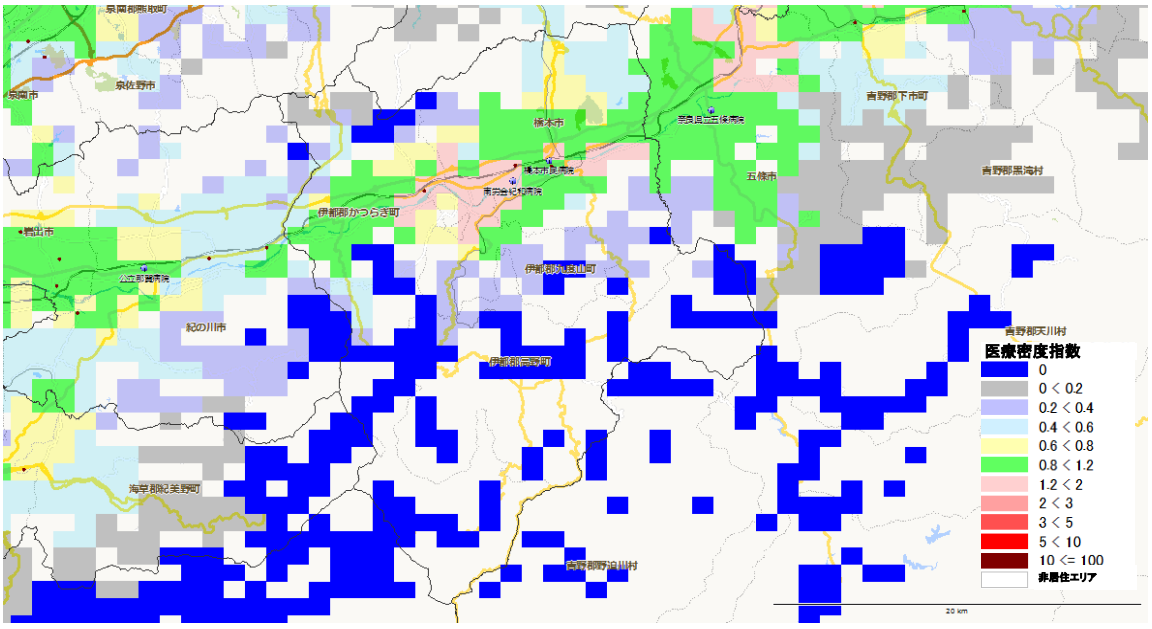
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院＋診療所)が157床(75歳以上1000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に94床(75歳以上1000人当たり7(全国平均21)偏差値38)と、63床の減少、率にして40%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には25床(2025年の推計75歳以上1000人当たり1)になることが予想される。



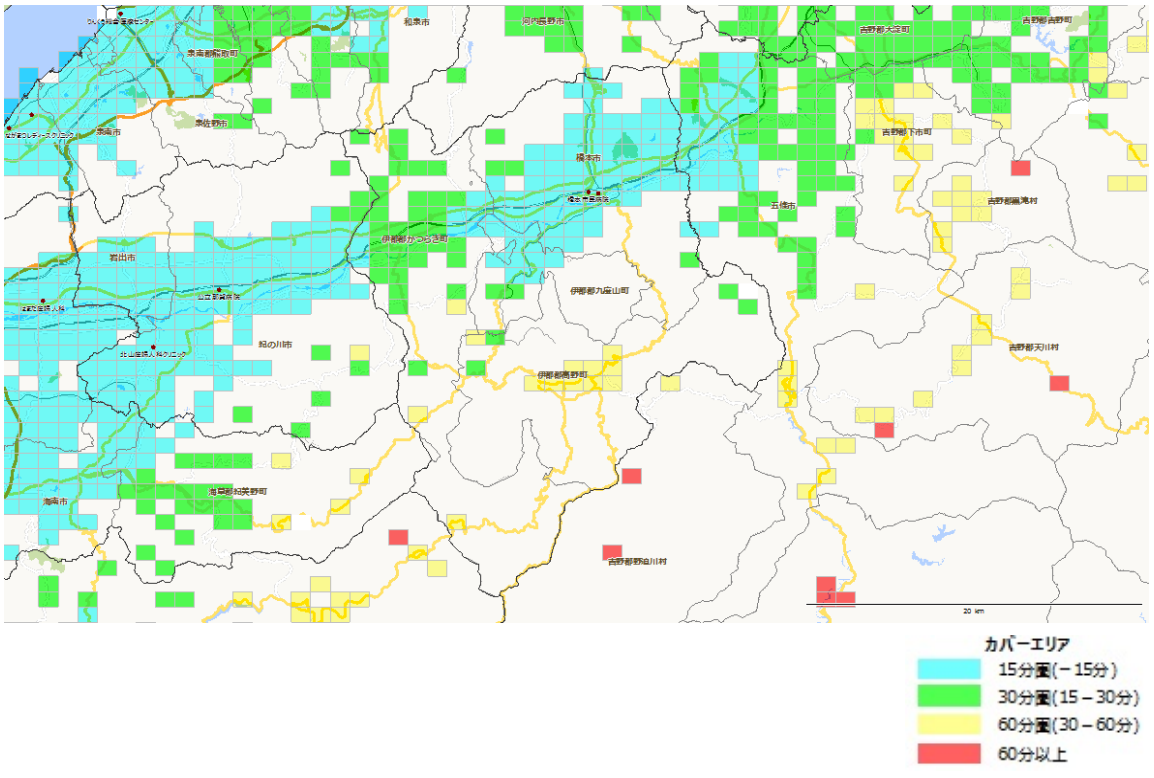
(橋本医療圏)　3.　医療密度[5]・周産期カバーエリア

図表30-3-1　急性期医療密度指数マップ



図表30-3-2　分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

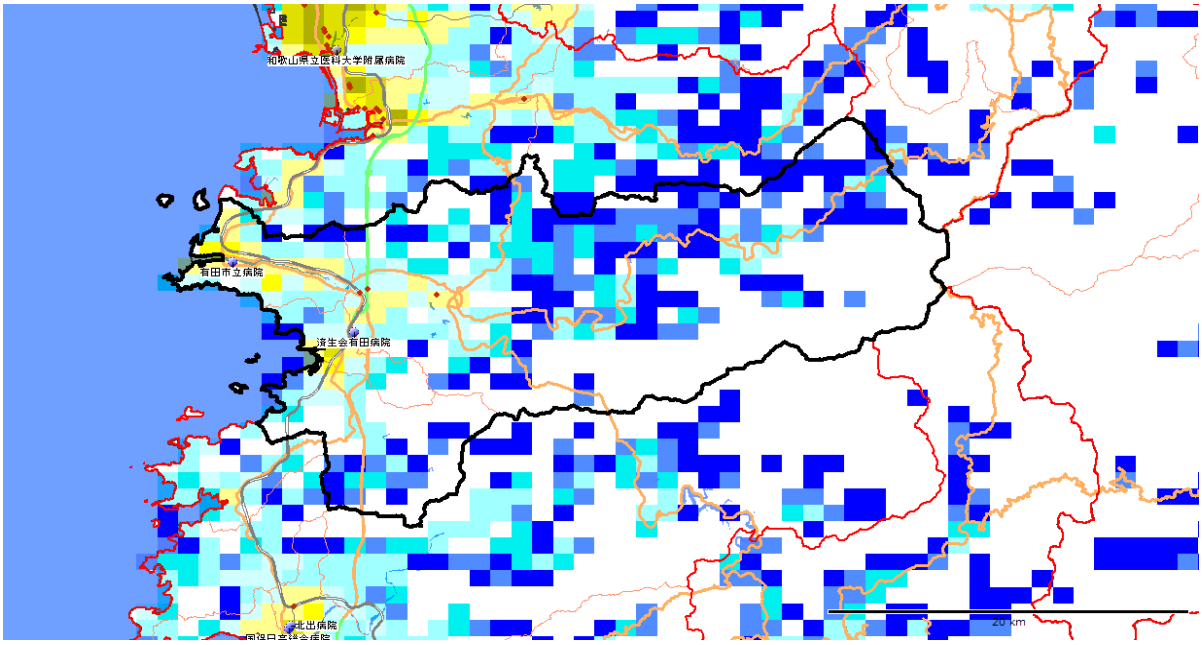
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



30-4. 有田(ありた)医療圏

構成市区町村[9]　有田市　湯浅町　広川町　有田川町

人口分布[1]（1㎢区画単位）



区画内人口(1平方キロ)
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

(有田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照: 資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など: 有田(有田市)は、総人口約74千人(2015年)、面積475㎢、人口密度は156人/㎢の過疎地域型二次医療圏である。

＊人口の将来予測: 有田の総人口は2025年に65千人へと減少し(2015年比－12%)、2040年に52千人へと減少する(2025年比－20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比＋17%)、2040年には14千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費: 有田の一人当たり医療費(国保)は321千円(偏差値45)、介護給付費は286千円(偏差値59)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度: 有田の一人当たり急性期医療密度指数[2]は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数[2]は0.34で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

＊医師・看護師の現状: 総医師数[3]の偏差値が40(病院医師数38、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

＊一般病床等の現状: 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。有田には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

＊療養病床の現状: 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

＊リハビリの現状: 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

＊精神病床の現状: 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

＊診療所の現状: 人口当たりの診療所数の偏差値は64で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状: 有田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1343人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が892床(偏差値58)、高齢者住宅等が451床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1136人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム74、グループホーム51、サ高住53である。

＊在宅ケアの現状: 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値64と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、193人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

＊介護の2025年の需要予測: 2025年の介護充足度指数[4]は＋5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(有田医療圏)　2.　推移と将来推計

【人口と医療需要】

有田医療圏の総人口は、2005年83596人が、2015年に74255人と11%減少し、2025年の人口が65217人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

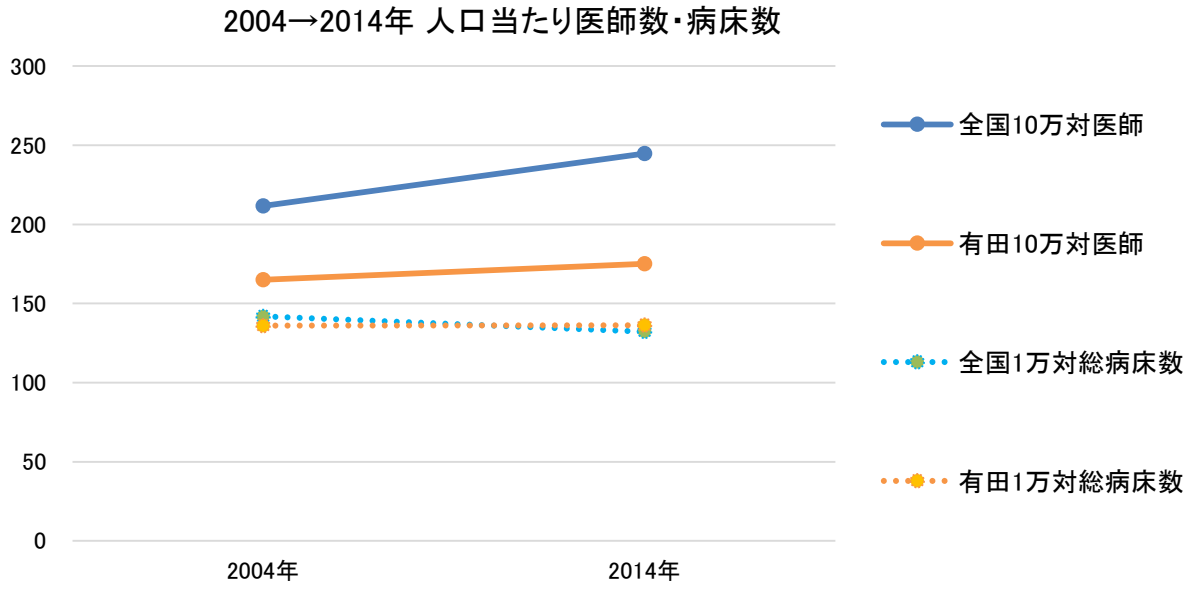
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に6(人口10万人当たり8.1病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が79(人口10万人当たり95診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2014年に78(人口10万人当たり105診療所(全国平均79)偏差値64)と、1診療所が減少した。

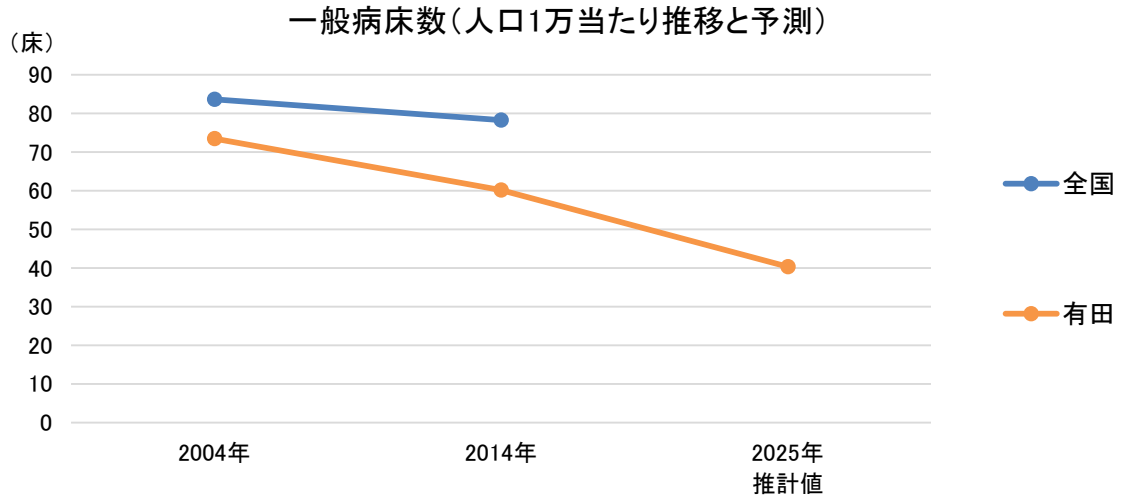
2004年の総病床数が1137床(人口1万人当たり136(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に1012床(人口1万人当たり136(全国平均132)偏差値51)と、125床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数[3]が138人(人口10万人当たり165人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に130人(人口10万人当たり175人(全国平均245人)偏差値43)と、8人の減少、率にして6%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



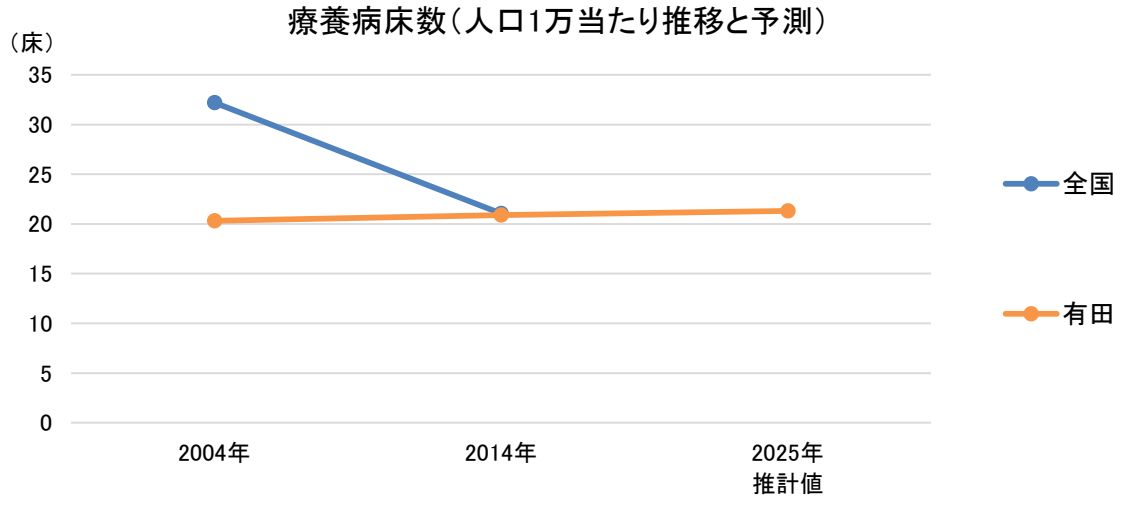
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院＋診療所)が614床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に447床(人口1万人当たり60(全国平均78)偏差値43)と、167床の減少、率にして27%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には263床(2025年の推計人口1万人当たり40)になることが予想される。



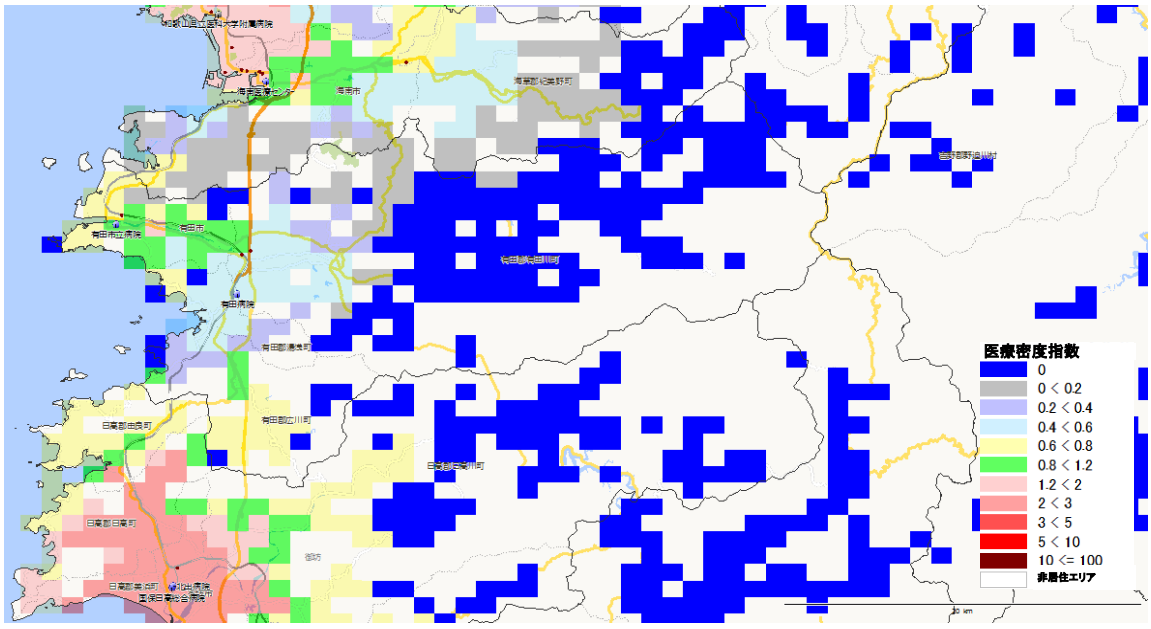
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院＋診療所)が219床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に261床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、42床の増加、率にして19%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には307床(2025年の推計75歳以上1000人当たり21)になることが予想される。



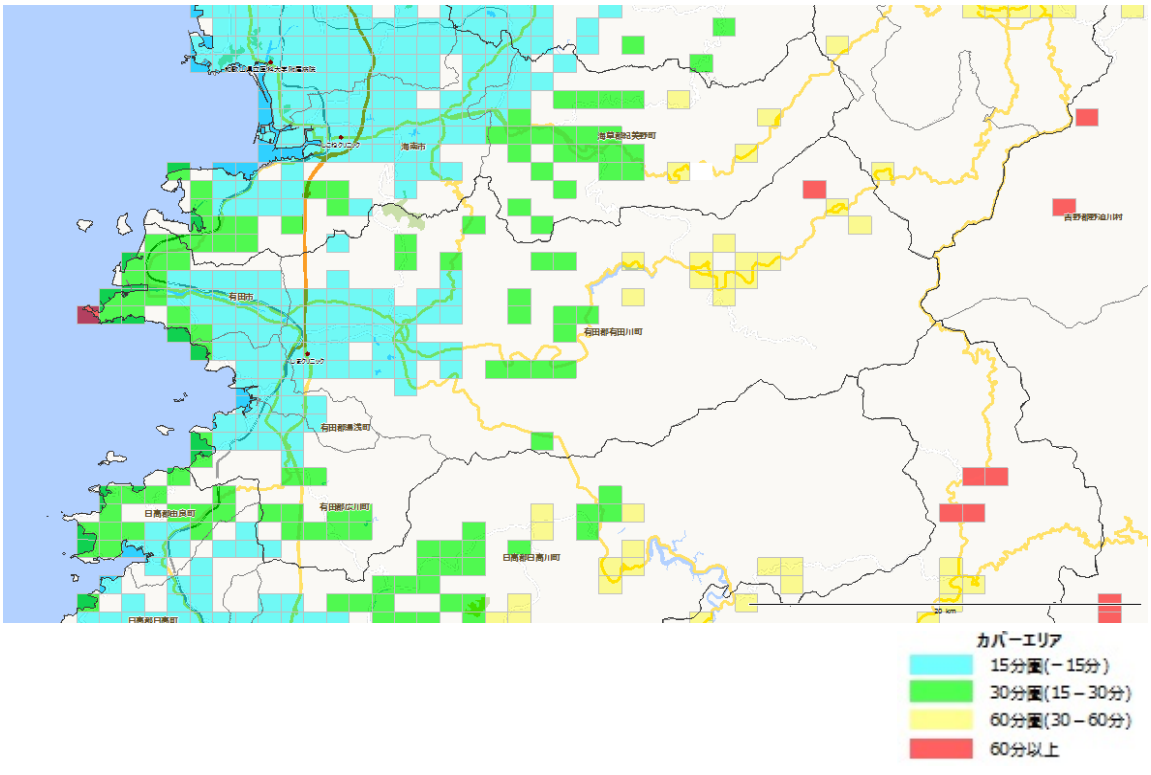
（有田医療圏） 3. 医療密度[5]・周産期カバーエリア

図表30-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

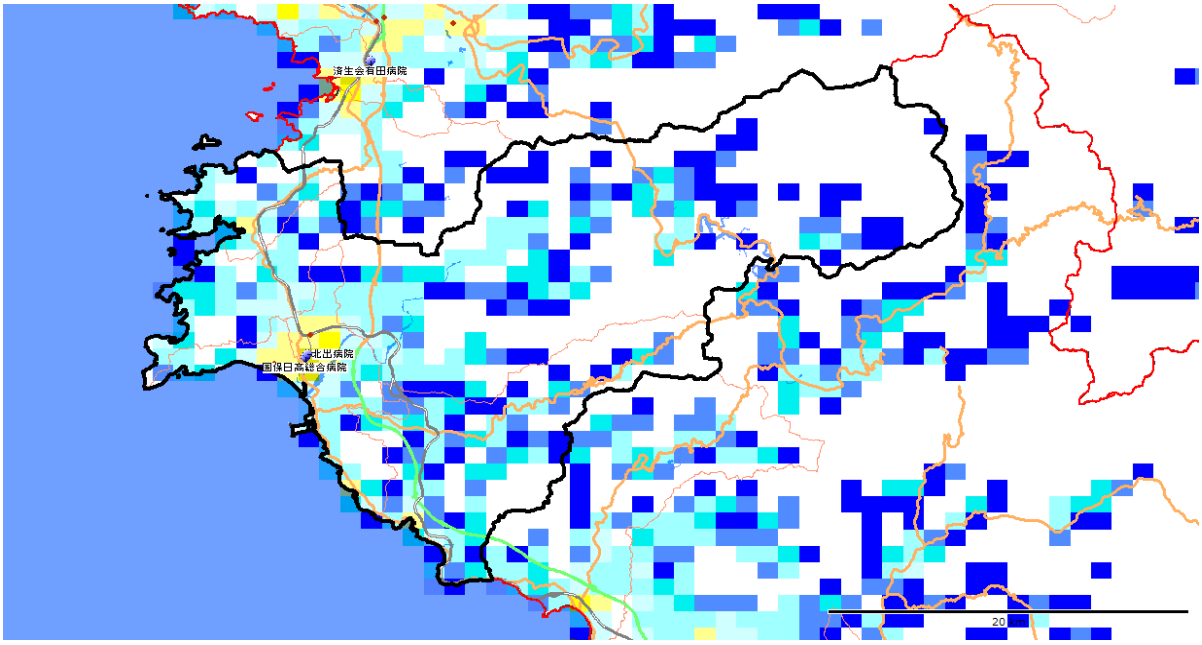
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



30-5. 御坊(ごぼう)医療圏

構成市区町村[9] 御坊市 美浜町 日高町 由良町
印南町 日高川町

人口分布[1] (1㎢区画単位)



区画内人口(1平方キロ)
0
0 < 20
20 < 50
50 < 100
100 < 500
500 < 1000
1000 < 2000
2000 < 3000
3000 < 5000
5000 < 10000
10000 < 15000
15000 < 20000
20000 <= 35000

DPC病院
Ⅰ群
Ⅱ群
Ⅲ群
一般病院

(御坊医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照: 資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など: 御坊(御坊市)は、総人口約64千人(2015年)、面積579㎢、人口密度は110人/㎢の過疎地域型二次医療圏である。

＊人口の将来予測: 御坊の総人口は2025年に57千人へと減少し(2015年比－11%)、2040年に47千人へと減少する(2025年比－18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比＋9%)、2040年には12千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費: 御坊の一人当たり医療費(国保)は337千円(偏差値48)、介護給付費は295千円(偏差値62)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度: 御坊の一人当たり急性期医療密度指数[2]は1.73、一人当たり慢性期医療密度指数[2]は1.77で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

＊医師・看護師の現状: 総医師数[3]の偏差値が49(病院医師数47、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は60と多い。

＊一般病床等の現状: 人口当たりの一般病床の偏差値は77で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。御坊には、年間全身麻酔件数が500例以上の国保日高総合病院(Ⅲ群)がある。

＊療養病床の現状: 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

＊リハビリの現状: 総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

＊精神病床の現状: 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

＊診療所の現状: 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状: 御坊の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1175人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が954床(偏差値72)、高齢者住宅等が221床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1079人(75歳以上1000人当たりの偏差値71)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム77、介護療養型医療施設43、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム65、グループホーム48、サ高住37である。

＊在宅ケアの現状: 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、160人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

＊介護の2025年の需要予測: 2025年の介護充足度指数[4]は＋13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(御坊医療圏)　2.　推移と将来推計

【人口と医療需要】

御坊医療圏の総人口は、2005年70535人が、2015年に63603人と10%減少し、2025年の人口が56861人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

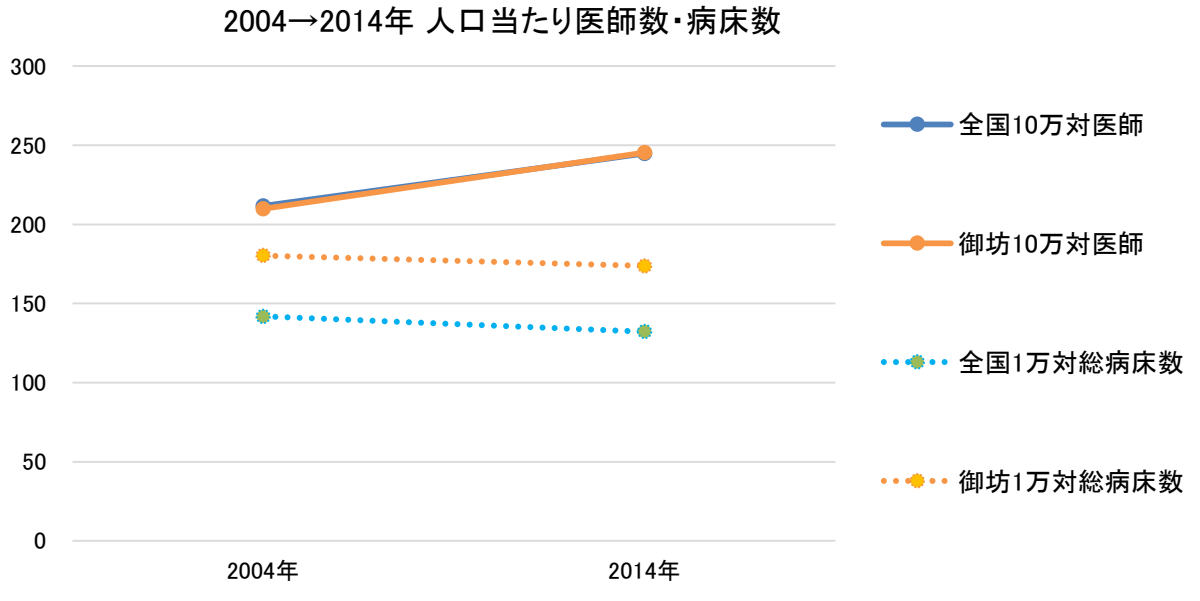
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が4(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に4(人口10万人当たり6.3病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が66(人口10万人当たり94診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2014年に68(人口10万人当たり107診療所(全国平均79)偏差値65)と、2診療所が増加した。

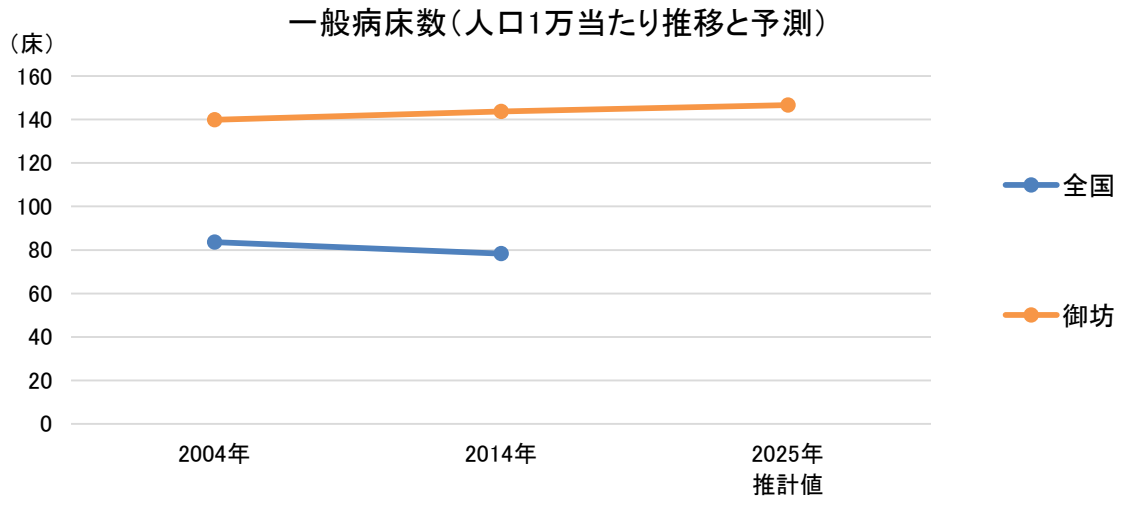
2004年の総病床数が1272床(人口1万人当たり180(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に1105床(人口1万人当たり174(全国平均132)偏差値57)と、167床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数[3]が148人(人口10万人当たり210人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に156人(人口10万人当たり245人(全国平均245人)偏差値50)と、8人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



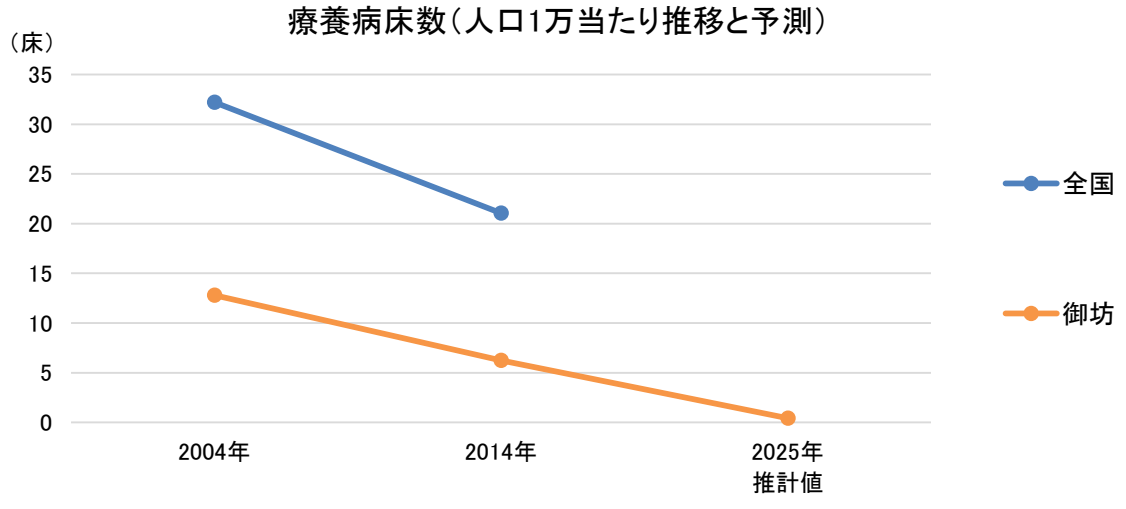
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院＋診療所)が987床(人口1万人当たり140(全国平均84)偏差値70)であったが、2014年に914床(人口1万人当たり144(全国平均78)偏差値74)と、73床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には834床(2025年の推計人口1万人当たり147)になることが予想される。



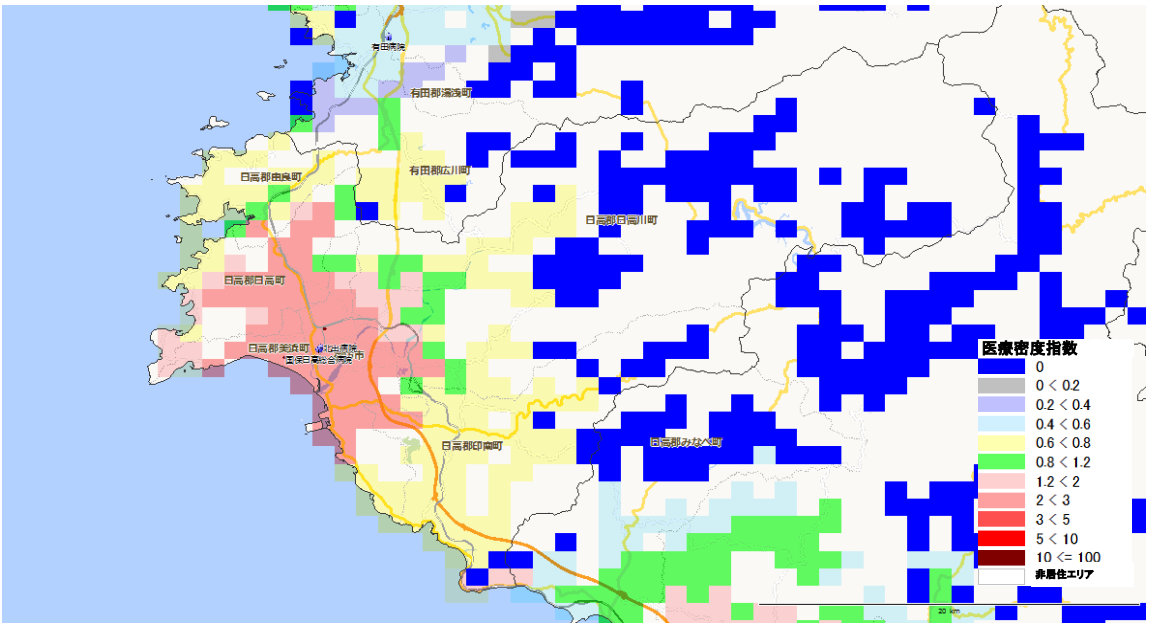
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院＋診療所)が123床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に67床(75歳以上1000人当たり6(全国平均21)偏差値37)と、56床の減少、率にして46%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5床(2025年の推計75歳以上1000人当たり0)になることが予想される。



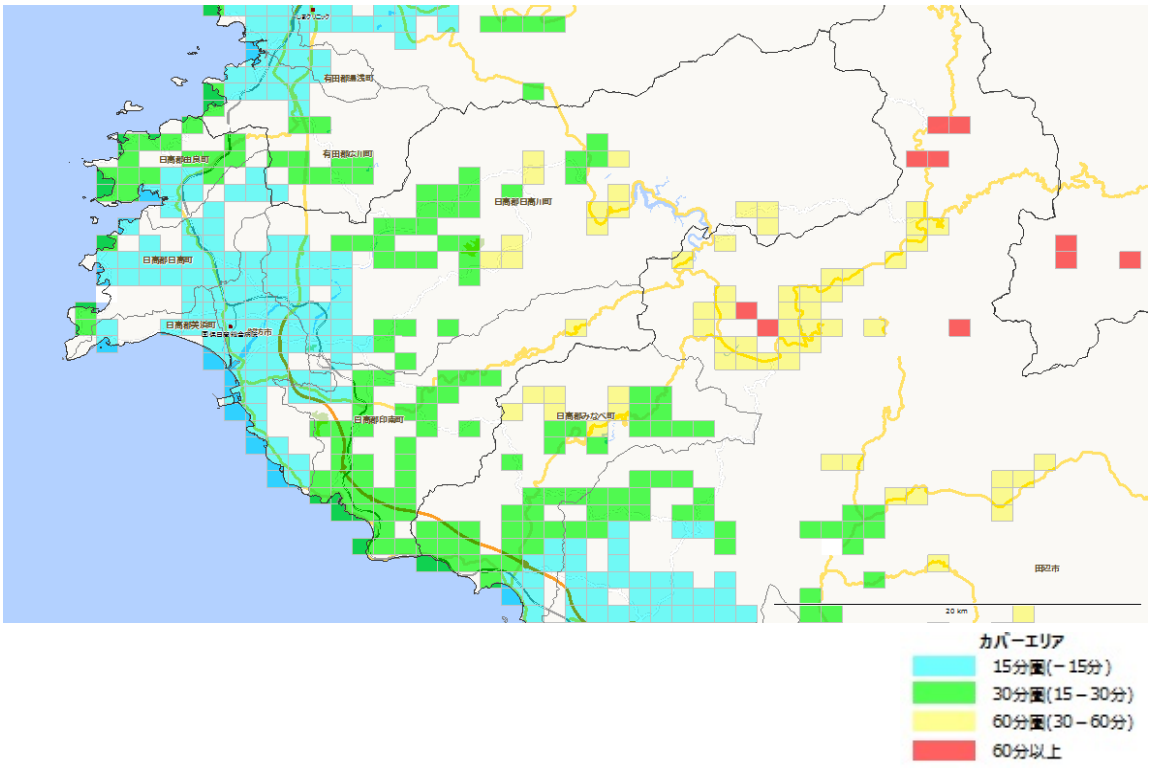
(御坊医療圏)　3.　医療密度[5]・周産期カバーエリア

図表30-5-1　急性期医療密度指数マップ



図表30-5-2　分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

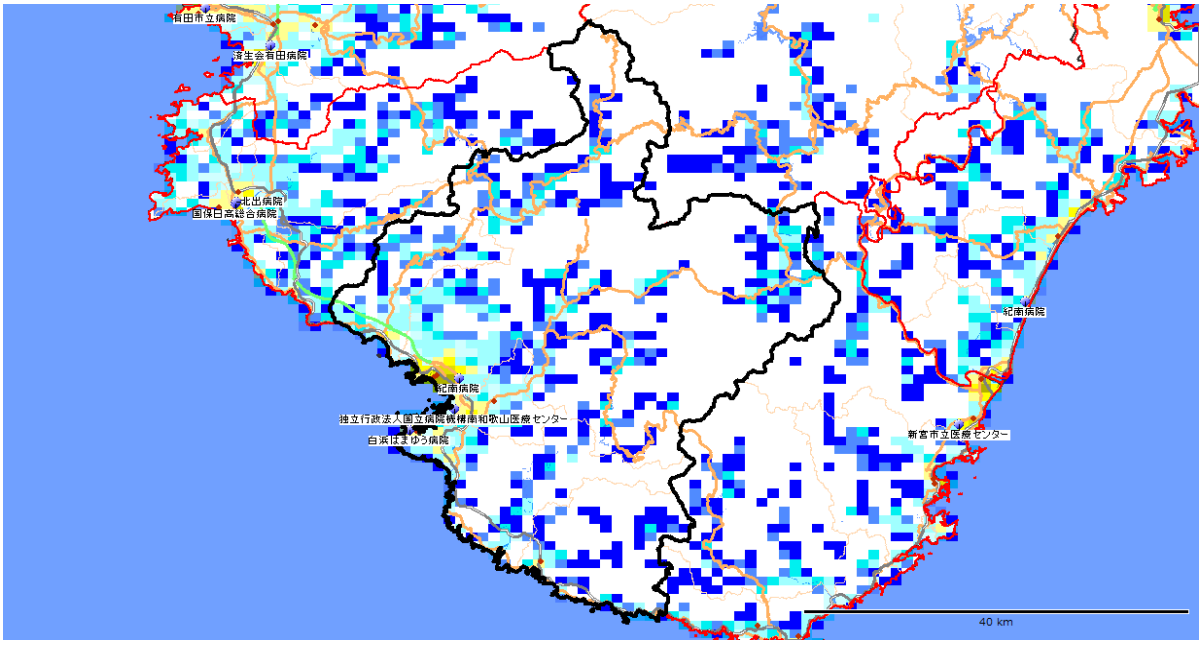
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



30-6. 田辺（たなべ）医療圏

構成市区町村[9]　田辺市　みなべ町　白浜町　上富田町　すさみ町

人口分布[1]（1㎢区画単位）



区画内人口（1平方キロ）
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

(田辺医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照: 資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など: 田辺(田辺市)は、総人口約128千人(2015年)、面積1580㎢、人口密度は81人/㎢の過疎地域型二次医療圏である。

＊人口の将来予測: 田辺の総人口は2025年に116千人へと減少し(2015年比－9%)、2040年に96千人へと減少する(2025年比－17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比＋14%)、2040年には24千人へと減少する(2025年比－4%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費: 田辺の一人当たり医療費(国保)は301千円(偏差値40)、介護給付費は310千円(偏差値66)であり、医療費は低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度: 田辺の一人当たり急性期医療密度指数[2]は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数[2]は1.91で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

＊医師・看護師の現状: 総医師数[3]の偏差値が49(病院医師数47、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

＊一般病床等の現状: 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。田辺には、年間全身麻酔件数が1000例以上の紀南病院(Ⅲ群)、500例以上の国立病院機構南和歌山医療センター(Ⅲ群・救命)がある。

＊療養病床の現状: 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

＊リハビリの現状: 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

＊精神病床の現状: 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

＊診療所の現状: 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状: 田辺の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2295人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1621床(偏差値61)、高齢者住宅等が674床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1909人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設64、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住56である。

＊在宅ケアの現状: 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値68と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、678人(75歳以上1000人当たりの偏差値81)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

＊介護の2025年の需要予測: 2025年の介護充足度指数[4]は－8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(田辺医療圏)　2.　推移と将来推計

【人口と医療需要】

田辺医療圏の総人口は、2005年140409人が、2015年に128161人と9%減少し、2025年の人口が115714人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

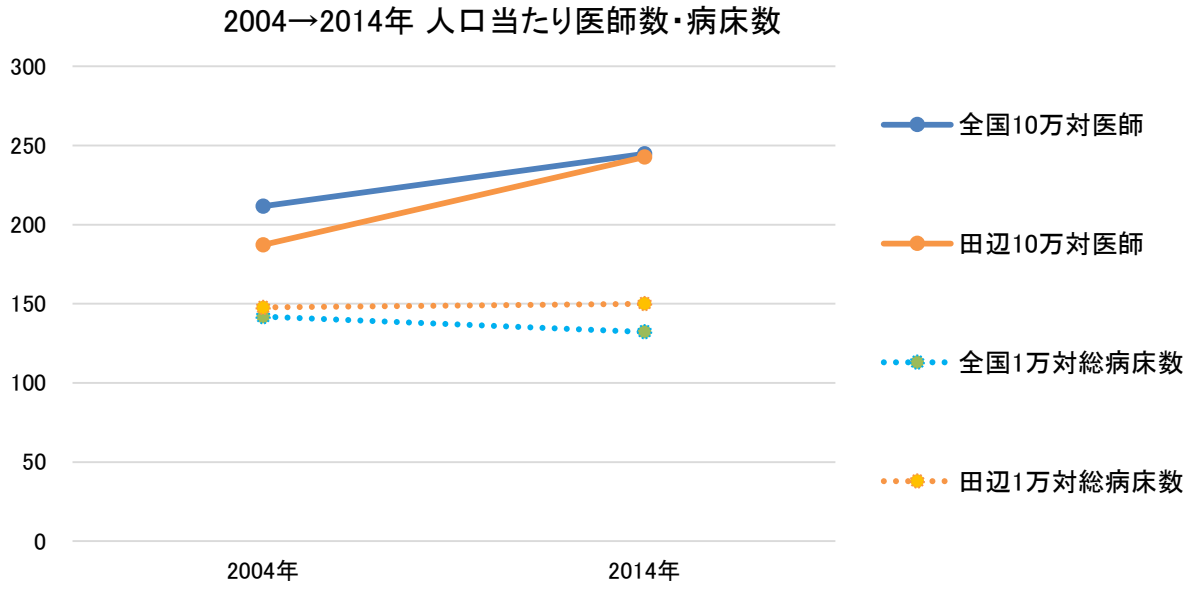
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に9(人口10万人当たり7病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が121(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に129(人口10万人当たり101診療所(全国平均79)偏差値62)と、8診療所が増加した。

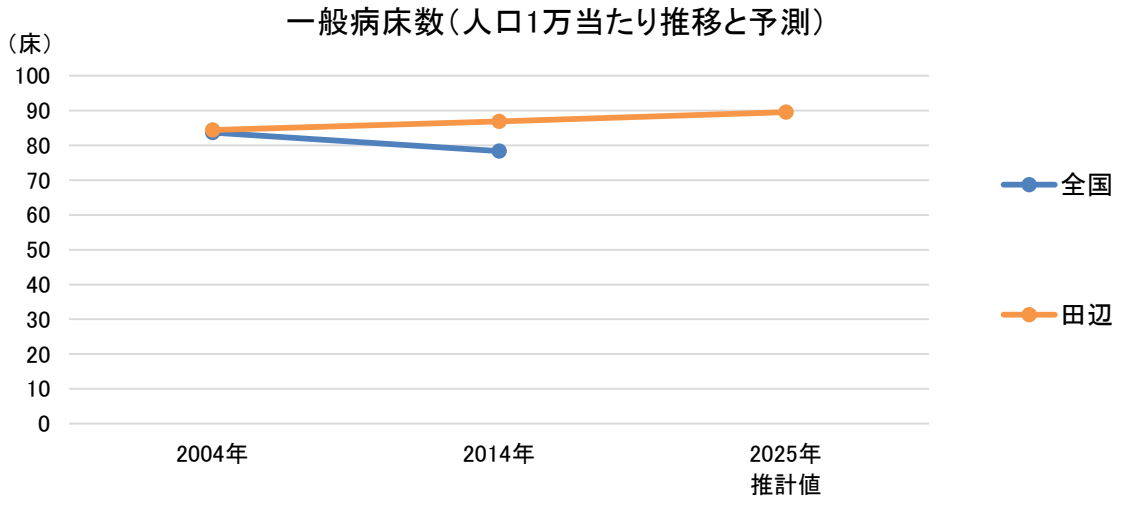
2004年の総病床数が2074床(人口1万人当たり148(全国平均142)偏差値51)であったが、2014年に1922床(人口1万人当たり150(全国平均132)偏差値53)と、152床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数[3]が263人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に311人(人口10万人当たり243人(全国平均245人)偏差値50)と、48人の増加、率にして18%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



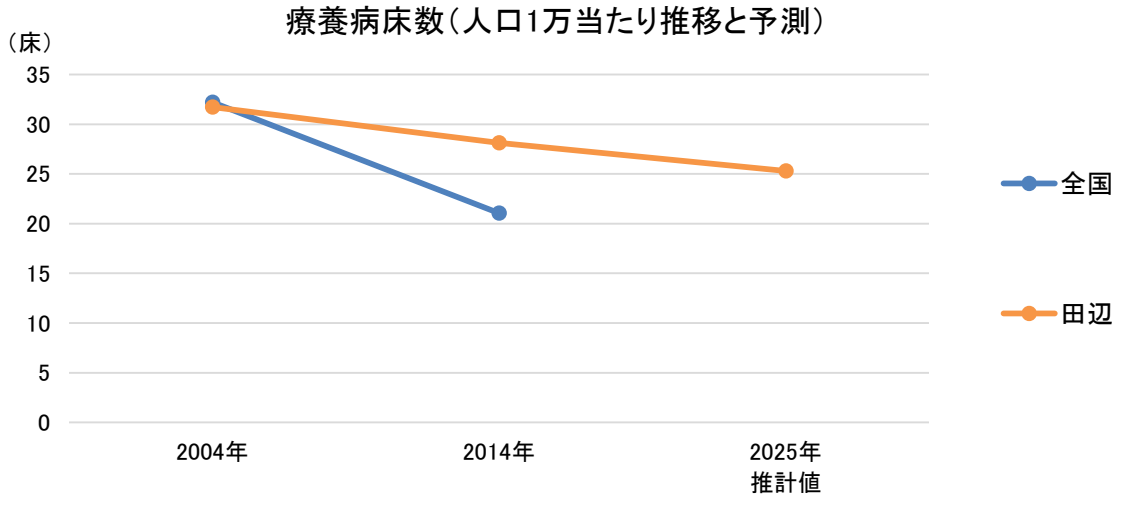
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院＋診療所)が1185床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に1114床(人口1万人当たり87(全国平均78)偏差値53)と、71床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1036床(2025年の推計人口1万人当たり90)になることが予想される。



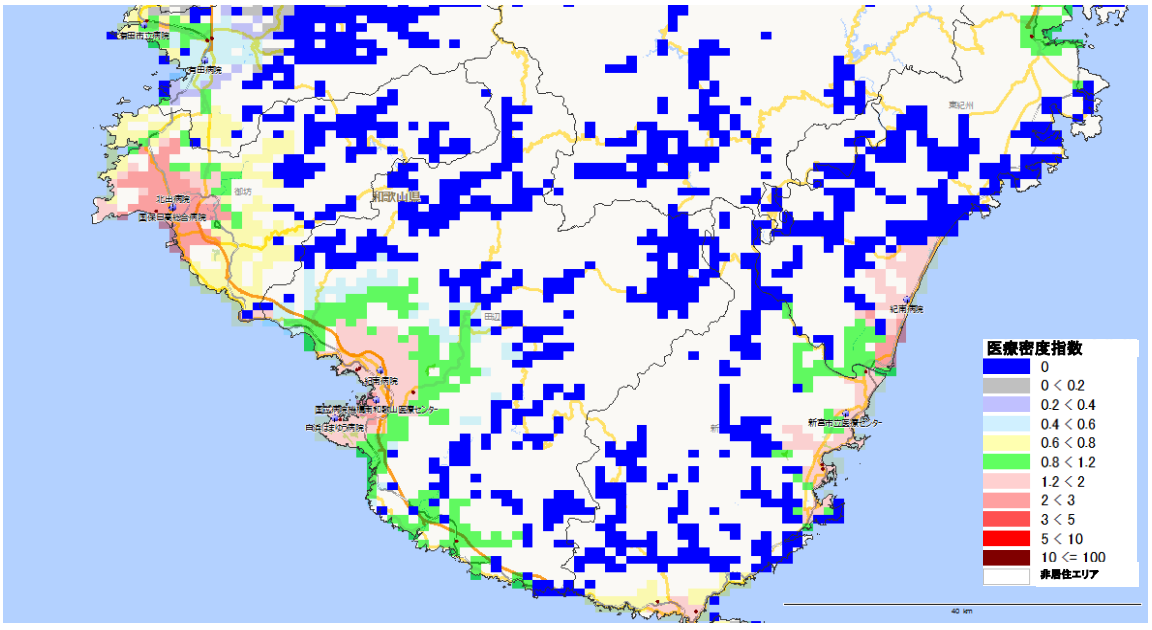
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院＋診療所)が577床(75歳以上1000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に606床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、29床の増加、率にして5%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には638床(2025年の推計75歳以上1000人当たり25)になることが予想される。



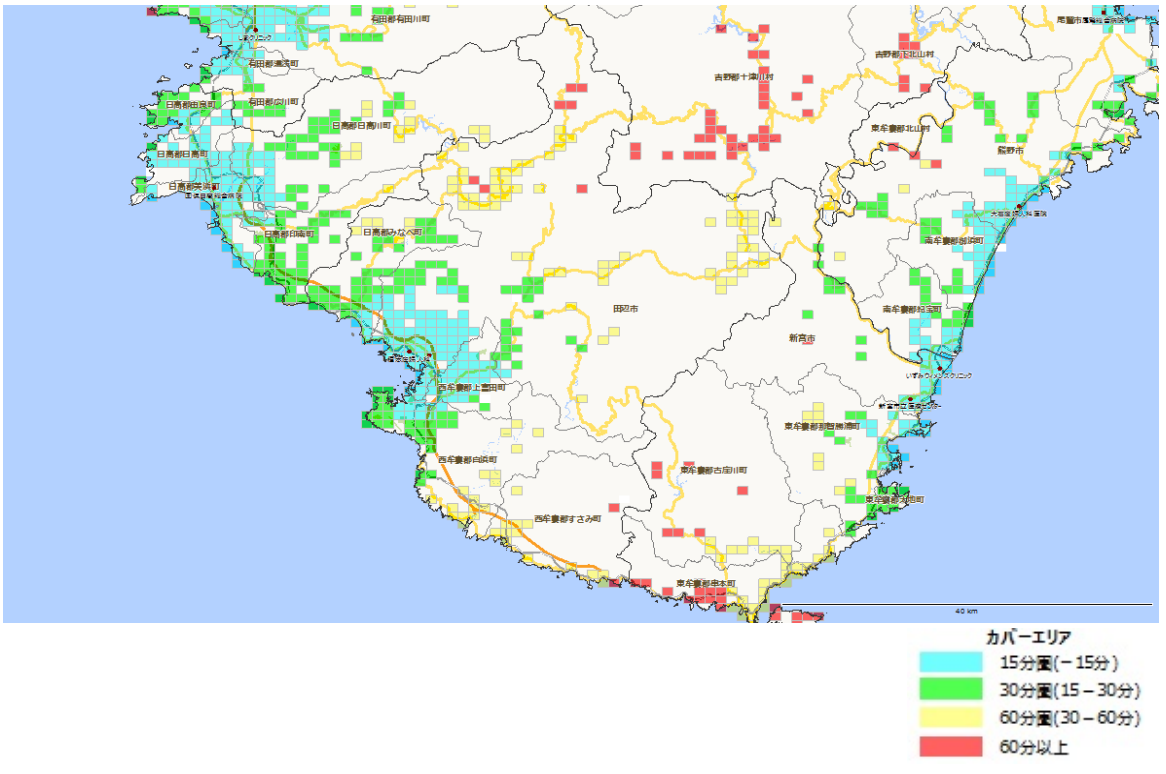
(田辺医療圏)　3.　医療密度[5]・周産期カバーエリア

図表30-6-1　急性期医療密度指数マップ



図表30-6-2　分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

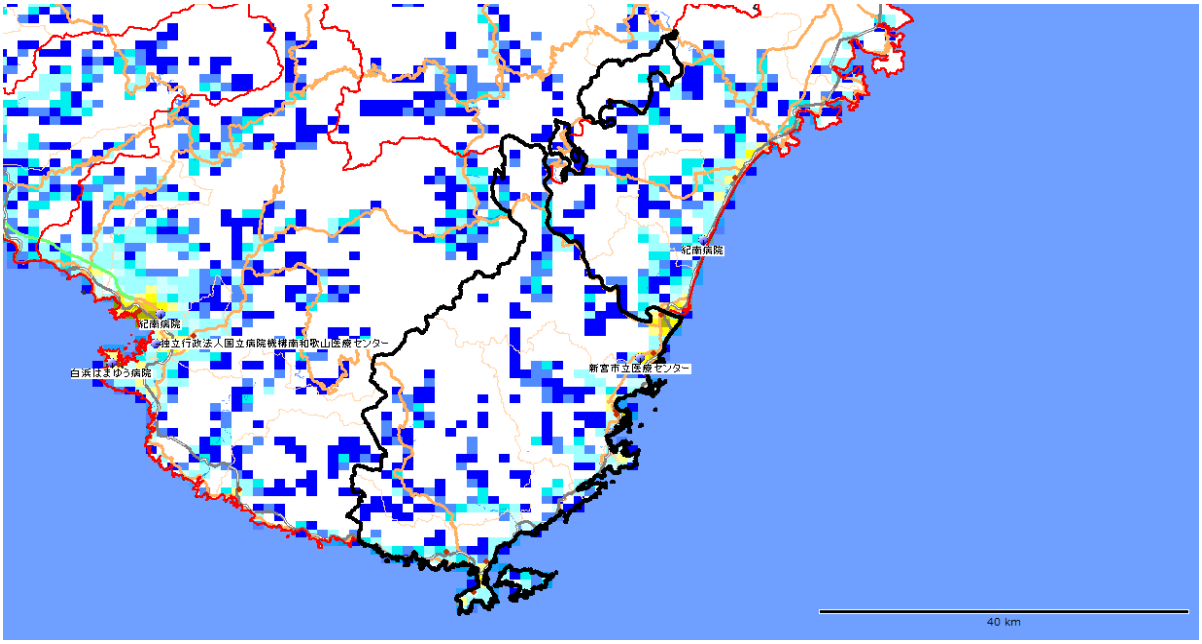
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



30-7. 新宮医療圏

構成市区町村[9] 新宮市 那智勝浦町 太地町 古座川町
北山村 串本町

人口分布[1] (1㎢区画単位)



区画内人口(1平方キロ)
0
0 < 20
20 < 50
50 < 100
100 < 500
500 < 1000
1000 < 2000
2000 < 3000
3000 < 5000
5000 < 10000
10000 < 15000
15000 < 20000
20000 <= 35000

DPC病院
Ⅰ群
Ⅱ群
Ⅲ群
一般病院

(新宮医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照: 資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など: 新宮(新宮市)は、総人口約68千人(2015年)、面積922㎢、人口密度は74人/㎢の過疎地域型二次医療圏である。

＊人口の将来予測: 新宮の総人口は2025年に58千人へと減少し(2015年比－15%)、2040年に43千人へと減少する(2025年比－26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比＋14%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比－19%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費: 新宮の一人当たり医療費(国保)は352千円(偏差値52)、介護給付費は283千円(偏差値58)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度: 新宮の一人当たり急性期医療密度指数[2]は1.09、一人当たり慢性期医療密度指数[2]は1.28で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

＊医師・看護師の現状: 総医師数[3]の偏差値が50(病院医師数47、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

＊一般病床等の現状: 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。新宮には、年間全身麻酔件数が500例以上の新宮市立医療センター(Ⅲ群)がある。

＊療養病床の現状: 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

＊リハビリの現状: 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は0である。

＊精神病床の現状: 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

＊診療所の現状: 人口当たりの診療所数の偏差値は65で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状: 新宮の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1201人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が962床(偏差値55)、高齢者住宅等が239床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1069人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設50、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム62、グループホーム43、サ高住36である。

＊在宅ケアの現状: 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、449人(75歳以上1000人当たりの偏差値81)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

＊介護の2025年の需要予測: 2025年の介護充足度指数[4]は－15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(新宮医療圏)　2.　推移と将来推計

【人口と医療需要】

新宮医療圏の総人口は、2005年79408人が、2015年に67930人と14%減少し、2025年の人口が57562人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

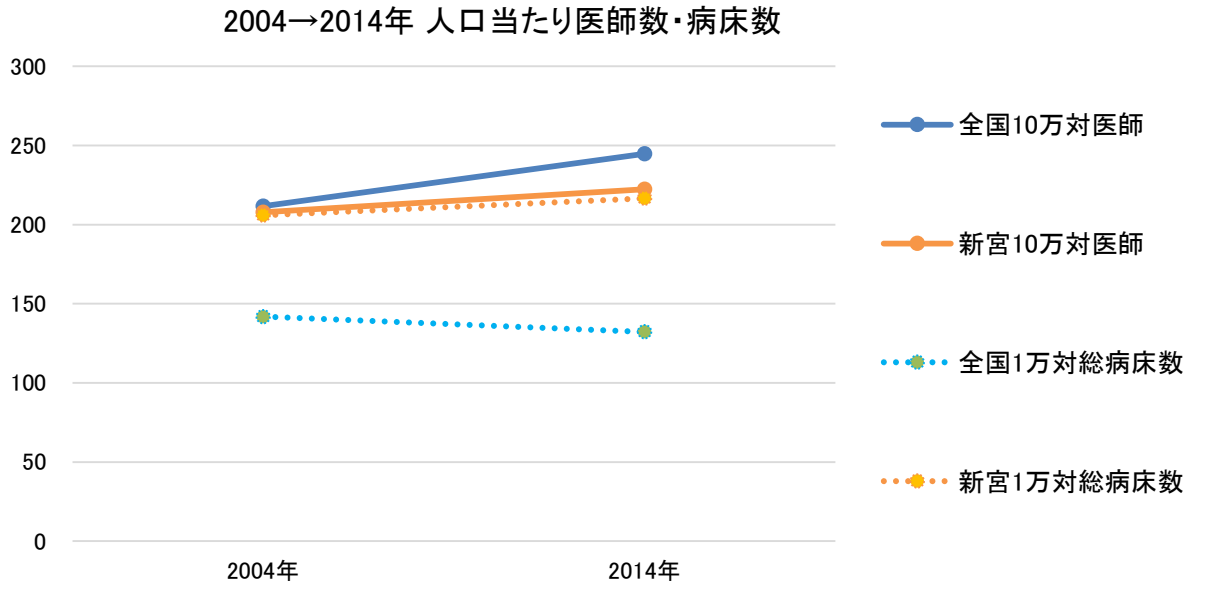
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり11.3病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に8(人口10万人当たり11.8病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が79(人口10万人当たり99診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に73(人口10万人当たり107診療所(全国平均79)偏差値65)と、6診療所が減少した。

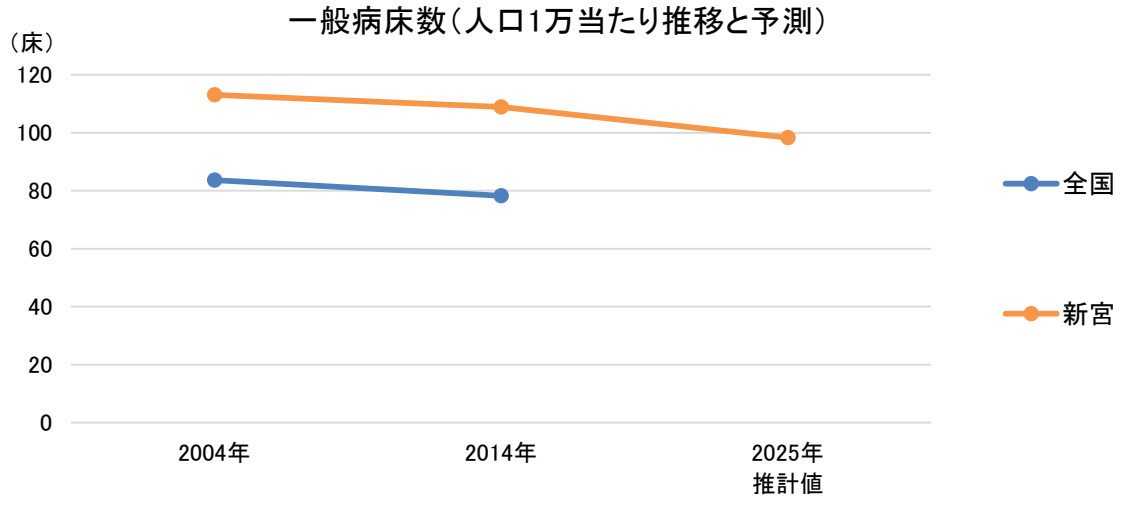
2004年の総病床数が1635床(人口1万人当たり206(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に1472床(人口1万人当たり217(全国平均132)偏差値65)と、163床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数[3]が165人(人口10万人当たり208人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に151人(人口10万人当たり222人(全国平均245人)偏差値48)と、14人の減少、率にして8%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



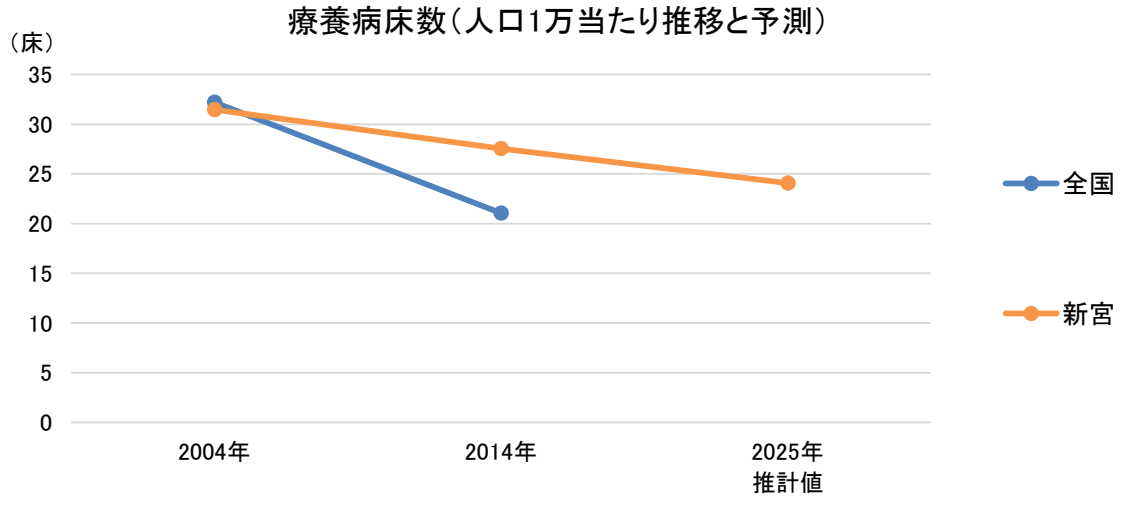
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院＋診療所)が898床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に740床(人口1万人当たり109(全国平均78)偏差値61)と、158床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には566床(2025年の推計人口1万人当たり98)になることが予想される。



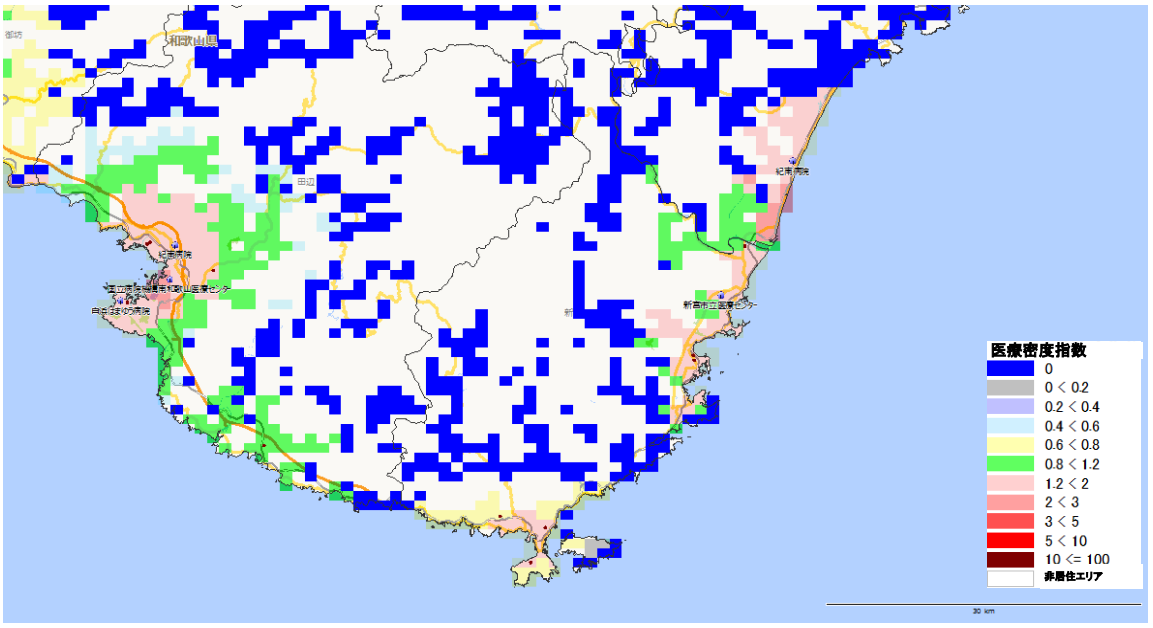
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院＋診療所)が398床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に393床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、5床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には388床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。



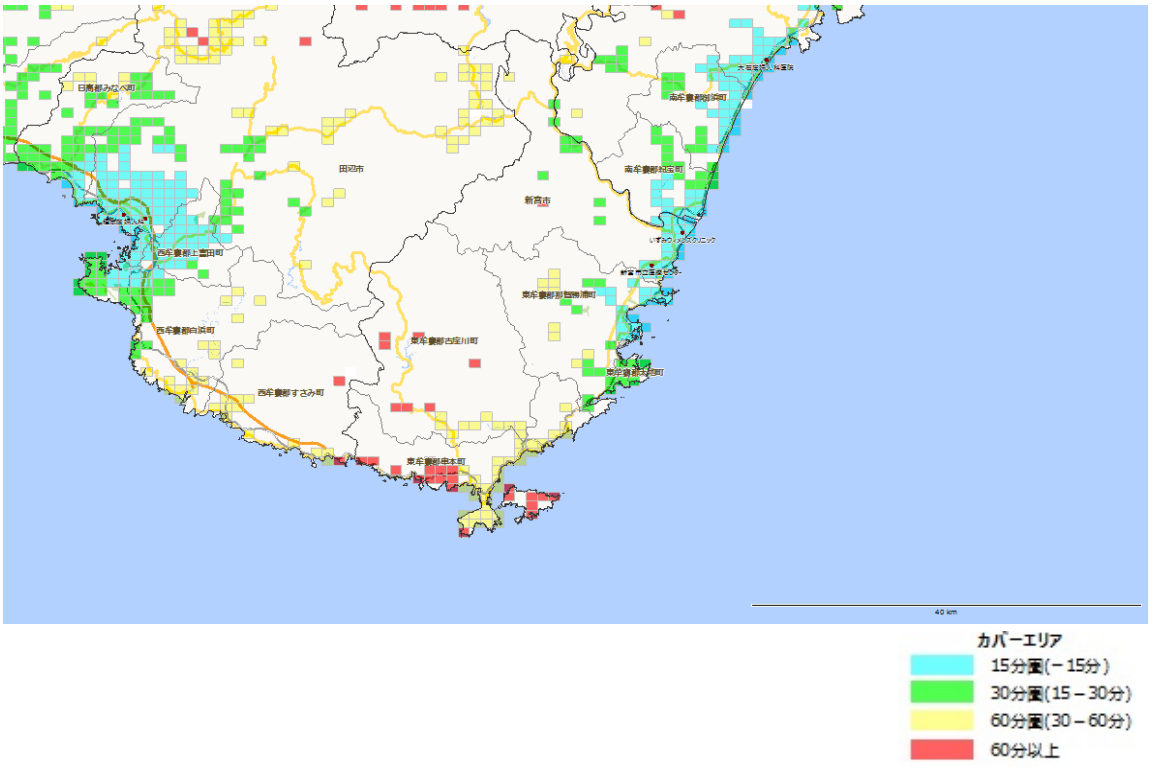
（新宮医療圏） 3. 医療密度[5]・周産期カバーエリア

図表30-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-7-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



注

[1]1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS　MarketAnalyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

[2]その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

[3]【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月)）と診療所医師数（平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月)）の合計。
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

[4]高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

[5]急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

[6]日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

[7]医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。
「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。
「入院外＋調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。
複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

[8]医療需要は（0～64歳人口）＋（65～74歳人口）×3.1＋（75歳以上人口）×5.0で算出。

[9]日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。